

令和2年2月21日付
鳥取県公報号外第20号別冊

令和元年度

鳥取県包括外部監査報告書 及びこれに添えて提出する意見

西部総合事務所地域振興局が所管する伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業等及び生活環境部が所管する第3回「山の日」記念全国大会に関する財務事務の執行について

鳥取県包括外部監査人

税理士 上原 武

目 次

第1章 監査の概要	1
第1 監査の種類	1
第2 選定した特定の事件	1
第3 監査の対象とした理由	1
第4 監査を実施した期間	1
第5 監査対象部局	2
第6 監査の方法	2
第7 監査の視点	2
第8 監査手続	3
第9 包括外部監査の実施者	4
第10 利害関係	4
第2章 監査の概要及び結果	5
第1 西部総合事務所地域振興局	5
1 伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業	5
2 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会事業	9
(1) 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会主催事業	9
(2) 市町村協働・連携事業	12
(3) 大山圏域魅力向上に向けた民間団体等の取組支援	30
(4) 1300年祭及び大山圏域の魅力の広報PR	34
(5) 伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等関係事業	35
3 大山山麓観光推進協議会DMO推進調査部会（特別会計）事業	36
第2 生活環境部	41
1 第3回「山の日」記念全国大会運営事業	41
2 森・里の恵み感謝祭 at 第3回「山の日」記念全国大会	49
(1) 歓迎フェスティバル	49
(2) 式典会場における安全対策費	53
3 国立公園満喫プロジェクト等推進事業	54

4 「とっとりの山」魅力発信事業.....	55
(1) 第3回山ガールサミット in 鳥取大山の開催.....	55
(2) 第3回わかさ「氷ノ山」山フェスの開催.....	58
(3) 「とっとりひと筆書きトレイルルートマップ」の作成.....	59
(4) 自然体験活動・自然保護普及啓発.....	59
(5) とっとりの自然の豊かさと山の魅力発信事業補助金.....	59
第3 指摘及び意見の件数.....	61
1 西部総合事務所地域振興局.....	61
2 生活環境部.....	61

第1章 監査の概要

第1 監査の種類

地方自治法第252条の37第1項の規定に基づく包括外部監査

第2 選定した特定の事件

西部総合事務所地域振興局が所管する伯耆国「大山開山1300年祭」推進事業等及び生活環境部が所管する第3回「山の日」記念全国大会に関する財務事務の執行について

第3 監査の対象とした理由

鳥取県には、豊かな自然、多くの先人達が築き上げた歴史や文化の山「大山（だいせん）」がある。大山は、自然公園法に定める大山隠岐国立公園の中核をなすとともに、古くから信仰の対象とされ、平安時代には大山寺が開創されて江戸時代にかけて参詣者で賑わった。

平成30年度は、養老2年（西暦718年）に大山寺が開創されてから1300年の節目の年であり、地元大山寺地区で開創法要、特別祈禱等の祭事や取組が行われるのに合わせて、大山山麓が一体となった、伯耆国「大山開山1300年祭」というイベントを、鳥取県が中心となって企画している。

また、平成26年の祝日法の改正により、新たに8月11日が「山の日」と定められ、平成30年度に同じ大山圏域で「第3回『山の日』記念全国大会 in 鳥取」が行われ、平成30年度は大山圏域にイベントや行事が集中した年であった。

包括外部監査の監査テーマ選定にあたって、予算編成の過程等を検討したところ、「伯耆国『大山開山1300年祭』推進事業」と「第3回『山の日』記念全国大会 in 鳥取」事業に関する予算執行額が多かったこと、支出先が実行委員会等に対する負担金とするものが多くあったため、大山圏域のこの2つの観光事業に関する施策をテーマとすることとした。

実行委員会の財務事務は、いずれも県が事務局として実施（平成30年度当時）していたが、県の直接の財務事務と異なり、会計部局等のチェック機能が働かないことから、県の財政状態や多様化する県民のニーズを踏まえて、地方自治法第2条第14項及び第15項の規定による、これらの施策及び関連事業の経済性、有効性及び費用対効果からみた効率性等について、包括外部監査人の立場から検討することは有意義と考え、包括外部監査のテーマとして選定した。

第4 監査を実施した期間

令和元年6月1日から同年12月31日まで

第5 監査対象部局

- ・ 伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進事業
西部総合事務所地域振興局
伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会
大山山麓観光推進協議会
- ・ 第3回「山の日」記念全国大会
生活環境部 緑豊かな自然課（旧「山の日」大会推進課）
第3回「山の日」記念全国大会実行委員会

第6 監査の方法

この監査の実施に当たっては、西部総合事務所地域振興局及び生活環境部が所掌する伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進事業及び第3回「山の日」記念全国大会に係る補助金・交付金、負担金及び委託料、並びに負担金を交付した実行委員会の補助金・交付金及び委託料を主な監査対象としたうえで、事務の執行について関係法令に従って適正に行われているか等の財務事務の監査の他に、経済性・効率性・有効性の観点を加味し、関係書類の検討などによる監査を実施した。

本監査報告書においては、補助金・交付金、負担金及び委託料の各定義は、以下のとおりである。

1 補助金・交付金

特定の事業や研究等を育成又は助長するため、公益上必要な場合に対価なくして支出するものをいう。

2 負担金

任意に各種団体を構成しているとき、その団体の必要経費に充てるため構成各団体が取り決められていた費用を支出するものをいう。

3 委託料

県の事務、事業等を他の機関又は特定の者に委託して行わせる場合に、その反対給付として支出する経費をいう。

第7 監査の視点

- 1 地方自治法第252条の37によれば、包括外部監査人は、包括外部監査対象団体の財務に関する事務の執行及び包括外部監査対象団体の経営に係る事業の管理のうち、同法第2条第14項及び第15項の規定の趣旨を達成するため必要と認める特定の事件について監査するものとされる。

つまり、我々が行う監査は、住民福祉の増進を目的として、経済性、効率性、有効性を追求し、地方公共団体がその事業等のあり方を新たな視点から見直し、地方行財政改革を促す監査であることを期待され、行うものである。

2 私たち4人は、税理士である。税理士は、税に関する唯一の国家資格であり、仕事柄日常において納税者たる県民の声を受け止める立場にある。その使命は申告納税制度の理念に沿って適正な納税を進めることにあるが、その理念を推進させるには県民の行政への信頼が不可欠であり、税の無駄使いは県民の納税意欲を減退させることになると考えられる。納税意欲と行財政改革は表裏一体であり、そういう意味で県民は、税の使われ方に大変注目している。従って我々は、このたび包括外部監査を行うに当たって、その期待を背負って納税者たる県民の目線で監査することを心がけた。

3 具体的には次の着眼点で監査した。

- (1) 補助対象の認定は適切か、補助金、負担金に公益上の必要はあるか。
- (2) 補助金等交付要綱、実行委員会規約は適切な内容で制定されているか。
- (3) 補助金、負担金の申請・決定・交付等の手続は適切か。
- (4) 補助事業等の実績報告は適切か。
- (5) 交付団体への指導、監督は適切か。
- (6) 委託契約の契約内容は適正か。
- (7) 委託金額の精査は適正に行われているか。
- (8) 委託先からの実績報告及び県における完了検査手続は適正か。
- (9) 費用対効果の検証は行われているか。

第8 監査手続

下記日程により、西部総合事務所地域振興局及び緑豊かな自然課（旧「山の日」大会推進課）から関係書類の説明を受け、ヒアリング及び監査を実施した。監査後、担当課等と質疑のやりとりを行い、報告書を作成した。

監査対象機関	実施日
予備調査（スポーツ課）	7月 17日(水)
予備調査（交通政策課、販路拡大・輸出促進課、食のみやこ推進課及び西部総合事務所地域振興局）	7月 18日(木)
予備調査（生活環境部及び畜産課）	7月 19日(金)
本監査（緑豊かな自然課「旧「山の日」大会推進課」）	8月 28日(水)
本監査（西部総合事務所地域振興局）	8月 29日(木)
本監査（緑豊かな自然課「旧「山の日」大会推進課」）	11月 22日(金)

本監査（緑豊かな自然課「旧「山の日」大会推進課」、西部総合事務所地域振興局）	11月27日(水)
----------------------------------------	-----------

上記の他に、外部監査人の事務所等で報告書の作成及び協議のための会議を実施した。

第9 包括外部監査の実施者

外部監査人	税理士	上原 武
外部監査人補助者	税理士	戸野 克則
外部監査人補助者	税理士	谷田 真基
外部監査人補助者	税理士	金森 実

第10 利害関係

包括外部監査の対象とした事件につき、外部監査人及び補助者は地方自治法第252条の29に規定する利害関係はない。

第2章 監査の概要及び結果

第1 西部総合事務所地域振興局

1 伯耆国「大山開山 1300 年祭」推進事業

伯耆国「大山開山 1300 年祭」のコンセプトや事業体系等は次のとおりである。

(1) 地域が一体となった一大ムーブメント

平成 30 年は、養老 2 年（718 年）に大山寺が開創されてから、1300 年の節目の年。

地元大山寺地区で開創法要、特別祈禱、特別なもひとり神事等、平成 30 年のみの祭事・取組が行われるのに合わせて、大山山麓の地域が一体となった一大ムーブメント伯耆国「大山開山 1300 年祭」を展開。

(2) 1300 年祭を通じて大山圏域の魅力をアピール

大山開山 1300 年祭では、大山圏域が有する様々な魅力を国内外に PR し、さらなる誘客・地域活性化を図るため、「大山への祈り」をテーマとした大山寺・大神山神社などの地元主催事業と「大山からの恵み」をテーマとした伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会・自治体・民間団体等の主催事業を通じて、様々な催し・取組・情報発信を行っていく。

旧伯耆国（現在の県中西部）エリアを中心に、5 月から 11 月までの中核期間内に 4 つのシーズンを設定して、大山や大山圏域の様々な魅力を満喫できる催しを切れ目なく展開。

この地を訪れる方々の嗜好に合った「あなたの大山」を見つけられるよう PR していくとともに、もう一つの大きな魅力であるウィンタースポーツ等の「冬の大山」も PR していく。

(3) 中核催事

8 月には、伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典、第 3 回「山の日」記念全国大会 in 鳥取を開催。

記念式典では自然と共生してきた人々の営み、刀剣やたたらの歴史・文化を全国にアピールし、「山の日」記念大会では自然保護憲章発祥の地、「一木一石運動」「キャリーダウンボランティア」が根付いた「山を守る聖地・大山」をアピール。

両催事を通じ、1300 年の歴史の中で生まれた、山を守り、山とともに生きる県民の姿、豊かな山の自然に恵まれ、心豊かに暮らせる鳥取県の豊かさを県民の皆様、観光客の皆様と共有し、また、全国に PR していく。

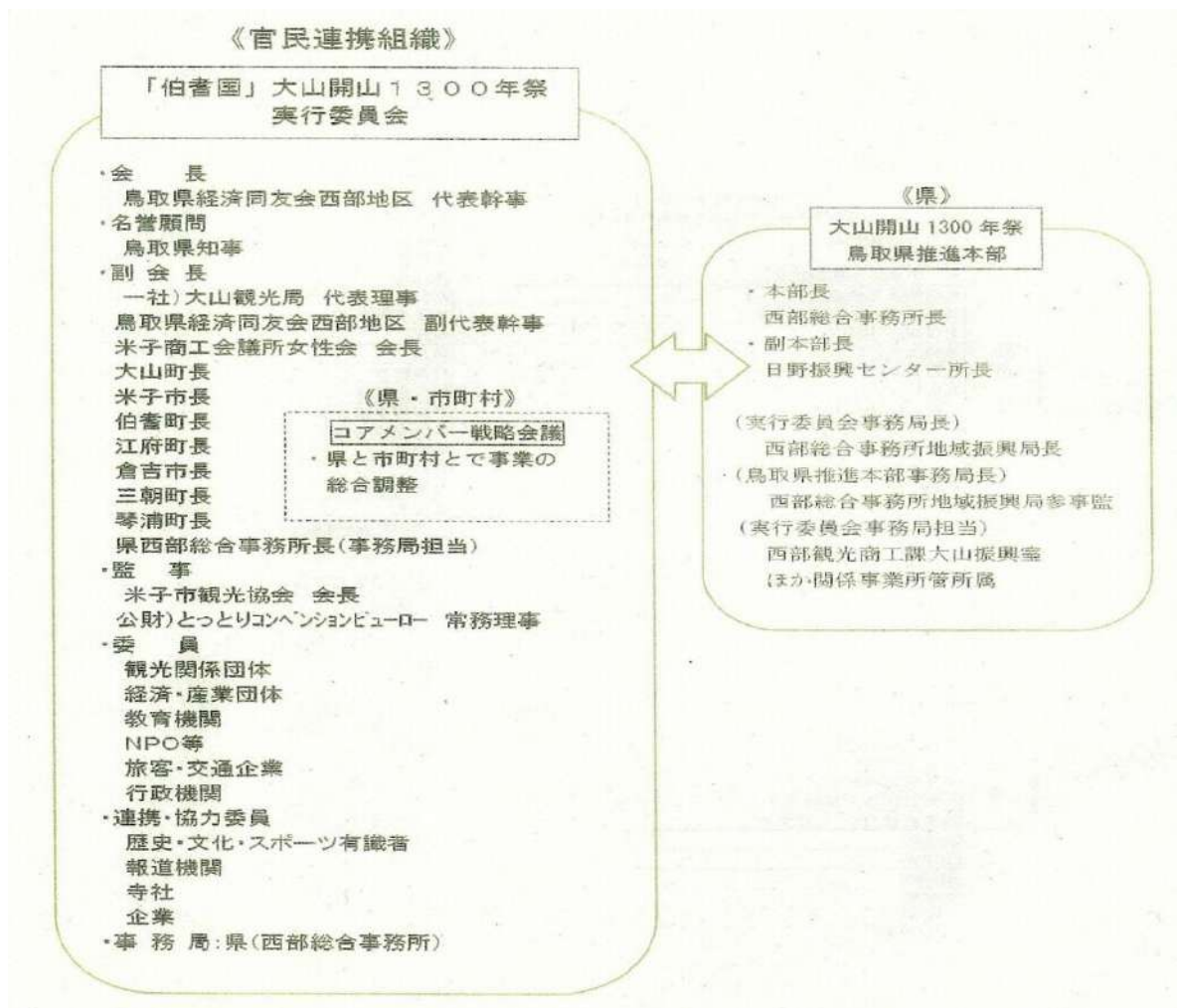
(4) 1300 年のレガシー継承、新たなレガシー創造

伯耆国「大山開山 1300 年祭」は、単なる一過性のイベントではなく、1300 年にわたって大切に育まれてきた大山圏域の歴史・自然・文化・暮らしに改めて地元の県民が目を向け、その良さを再認識し、しっかりと承継しながら、次の 100 年に向けて地域がさらなる飛躍を遂げるためのきっかけ、足掛かりとしていくものである。

(5) 公式ロゴマーク



(6) 連携・推進体制



(7) 事業の全体像

自然保護の聖地・名峰「大山」の様々な魅力を地域が一体となって発信！ ■期間 平成30年5月～11月

「大山への祈り」のステージ テーマ 調ふ（ととのう）
～必要なものは山が調えてくれる～ 地元（大山寺・大神山神社など）主催事業

○開創法要（5月20日）
○大山の大献灯
○特別版もひとり神幸
○御輿行列
○開山1300年特別祈禱
○開山1300年特別御朱印（帳）

大山の大献灯 御輿行列 特別御朱印帳

「大山からの恵み」のステージ テーマ 不思議と素敵 大山ワンダー 実行委員会ほか自治体・民間等の主催事業

「大山」の恵みを感じるプロジェクト 大地蔵信仰「日本刀」「たたら」をテーマに歴史・文化を発信

たいまつ行列 鳥取ゆかりの刀剣の特別展示

水と食プロジェクト 大山の清水に育まれた山・里・海の幸、名物料理を提供

大山おこわ・大山そば 1300年祭記念料理

緑のプロジェクト 大山の豊かな自然を楽しむとともに、山を利活用・保全

SEA TO SUMMIT 山頂へルミナ 10・11開催決定

星空鑑賞 プレミアム上映、星空カハ、星空リガト等、夜の大山の魅力を満喫

夜の水木しげるロード（イメージ） 天の川と大山

伯耆国「大山開山1300年祭」平成30年度事業体系

- 「山の日」記念全国大会や大山の魅力を発信する行事の開催（シーズンごとのコアイベントによる多様な魅力の発信）、大山山麓の様々な観光素材と一体的な「大山開山1300年祭」の展開を進める。
- 自然と共生してきた大山1300年の文化・歴史等を全国に発信する記念式典を開催。
- また、地元企業との連携による大山ブランドの構築、西部圏域の観光客受入環境・整備を実施。

4つのシーズンを設定して、大山開山1300年祭を展開！

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
「第一章・開く」～祈りと山開き～ （5月中旬～6月上旬・海〈水〉） 森・里・海を豊かに育む大山の『水』を五感で感じながら、大山を巡る旅が幕開け		「第二章・遊ぶ」～神事と山遊び～ （7月・月〈星〉） 空と星と、ホテル、夜景など「地上の星」との共演で忘れられない感動を		「第三章・灯す」～献灯と山祭り～ （8月・山〈緑〉） 「山を守る聖地」大山で、『山』に親しみ、『山』の恵みに感謝を捧げる。		「第四章・調ふ」～秋祭と継承～ （9月中旬～11月・太陽） クライマックスイベント「ワンダーフォーラム」を経て1300年のレガシーを後世へ継承





伯耆国「大山開山1300年祭」

大山の
歴史・文化・伝統を
次の世代へ



伯耆国「大山開山1300年祭」 記念式典

平成30年

8/9 [木] ◆開催時間 ◆会場
10:00～14:30 米子市公会堂 (米子市角盤町2-61)

開催項目

【記念式典】10:00～10:50
◆「大山讃歌」合唱 ◆大山未来宣言 ほかに

「記念式典」には 招待状が必要です

「記念講演」「記念コンサート」のみご観覧の方は
招待状は必要ありません。

●招待状応募方法

①住所・②氏名・③電話番号を明記の上、ハガキ・
ファックス・電子メールのいずれかでお申込みください。
後日、「招待状」を郵送します。(電子メールでお申込み
の場合は、件名を「8.9 記念式典申込」としてください)

●応募先

〒683-0054 米子市税町1丁目160
伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会
FAX(0859)31-9639
e-mail: seibu-shinkou@pref.tottori.lg.jp

【記念講演】11:00～12:05

入場自由・招待状不要



◆講師
松平定知氏
元NHKアナウンサー
京都造形芸術大学教授

◆“その時歴史が動いた”
の現場から

【記念コンサート】13:30～14:30

(開場13:15)

入場自由・招待状不要



◆出演者
松本 茜氏
ジャズピアニスト

駐車場について

イベント当日
米子市公会堂駐車場は
ご利用できません。

駐車場をご利用の方は、会場周辺
駐車場をご利用ください。

交通のご案内

ご来場には「公共交通」
または「無料シャトルバス」
をご利用ください。

当日は「JR米子駅」～「米子市公会
堂」をむすぶ無料シャトルバスを運
行いたします。

シャトルバス運行時間
8:00～14:30(10分間隔)

パンフレット

2 伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会事業

平成 30 年度の伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会事業は総事業費 263,660 千円の事業で、負担割合は県 1/2、市町村 1/2 を基本としている。

実行委員会の規約において、事務局は鳥取県西部総合事務所地域振興局内にあり、事務局長は鳥取県西部総合事務所地域振興局長が就任する。

また事務局規定により、事務局次長は鳥取県西部総合事務所地域振興局西部観光商工課大山振興室長及び大山振興室に配置される参事の職にあるものと規定されており、事務局職員は鳥取県西部総合事務所地域振興局の職員を充てるとなっており、鳥取県西部総合事務所地域振興局が事務を統括する実行委員会となっている。

実行委員会は県から 143,756 千円、市町村から 119,357 千円を負担金として交付されている。

また、実行委員会の会計規程によると、契約は原則として鳥取県の財務に関する諸規程を準用することとなっており、会計に関し必要な事項は鳥取県の諸規程に準ずるものとする定められている。

実行委員会は鳥取県西部総合事務所地域振興局が主として運営しているものであり、鳥取県の諸規程に準拠したものであるため、補助金や助成金などの支払いや契約についても監査の対象として選定した。

(1) 伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会主催事業

ア 事業の概要

実行委員会主催の主な事業は次のとおりである。

プロジェクト	主な事業	事業の概要
大山の恵 みを感じ るプロジ ェクト	特別展示「大山山麓の至宝」 ～「大山」ゆかりの刀を中心 に～	米子市美術館において、大山山麓の刀剣文化を背景とした大山ゆかりの名刀の数々や大山の重宝を特別展示。(入館者数 4,478 人)
	秋のたいまつ行列 ～継承・次の 100 年～	毎年、大山夏山開き祭(前夜祭)で行われるたいまつ行列を秋にも実施。(参加者数約 800 人)
	大山山麓の謎解き宝探し	圏域内に点在する地域の観光資源を謎解きストーリーにより結びつけ、ゲーム感覚で歴史・文化等に触れながら楽しくまち歩きを行える体験型イベントを実施(延べ 5,808 人がクリア)
	大山講座	自然体験、歴史探訪等、大山のフィールドを活かした野外講座を開催。 開催回数：5 回(延べ参加者数約 360 人)
緑のプロ	伯耆国「大山開山 1300 年祭」	大山博労座駐車場特設ステージにおいて、エフエ

プロジェクト	～星空コンサート～	ム山陰による J F N24 局ネット「要のある音楽」の公開録音を実施。
	SEA TO SUMMIT サミット	SEA TO SUMMIT を開催する全国各地の 12 会場の知事等関係者がサミット発祥の地「皆生・大山」に集結し、大会 10 年の軌跡と成果を確認するとともに、共同宣言を取りまとめた。
	皆生・大山SEA TO SUMMIT 10thア ニバーサリー大会	動力を使わず海から山頂までを踏破しながら、自然の循環に思いをはせる環境型スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の 10 回目の記念大会の実施に当たり、10 回記念環境シンポジウムを開催し、大山の魅力やアウトドアスポーツの聖地としての P R を実施。
	大山夏山開き祭	夏山の安全祈願とあわせてご神火のたいまつ行列を実施し、夏山シーズンの大山の魅力を広く県内外に P R した。
	新しい「大山詣り」ホーリー トレイル大会	かつて大山詣りに供された古の大山道を信仰の道「ホーリートレイル」として整備し、大山詣りや牛馬市などの日本遺産のストーリーを体感できるロングトレイルルートとして P R する大会を開催。
	大山の大献灯	和傘、絵灯籠が夜の大山を幻想的にライトアップする、大山夏の風物詩「お盆の大献灯」を開催。例年はお盆の 3 日間の開催だが、8 月及び 9 月の計 9 日間開催した。
	大山「星」のフェスティバル	自然環境豊かで、星空観賞の適地である大山圏域の魅力を広く周知するため、解説付き星空ウォッチングと併せて、プラネタリウム、トークイベント等を実施。 5 会場で開催（延べ参加者数約 3,680 人）
水と食プロジェクト	大山の恵み P R 事業	グルメフェスタへの出店や情報誌への記事掲載、「大山の恵みグルメマップ」の配布等により、これまでに創作した大山開山 1300 年祭記念料理等おもてなし料理や、大山の恵みを P R し、大山圏域の水と食の魅力をアピールした。

イ 決算額

決算額 総事業費 109,187 千円 県負担額 54,594 千円(1/2)

ウ 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。



(2) 市町村協働・連携事業

ア 事業の概要

伯耆国「大山開山 1300 年祭」の更なる盛り上がり、誘客促進または圏域の魅力向上に資する事業に補助金を交付している。

平成30年度伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業補助金実施要項

1 概要

平成30年度伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業補助金については、補助金交付要綱によるほか、本実施要項に御留意の上、事務手続・事業実施を行ってください。

(1) 交付目的

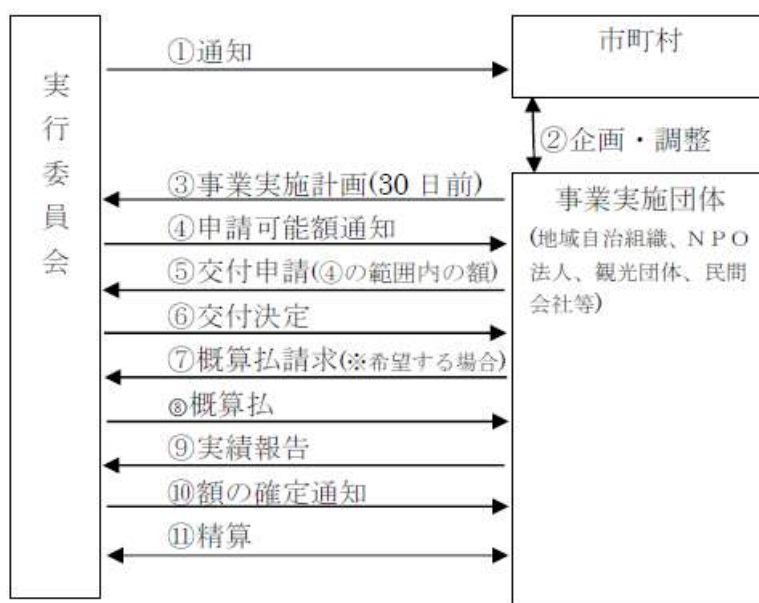
大山圏域の市町村、地域自治組織、NPO 法人、観光団体、民間会社等と伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会（以下「実行委員会」という。）が協働・連携し、次に掲げるプロジェクトを推進し、伯耆国「大山開山1300年祭」のさらなる盛り上がり、誘客促進または圏域の魅力向上に資する事業を実施することを目的として交付します。

【プロジェクト】

- 「大山」の恵みを感じるプロジェクト
- 緑のプロジェクト
- 水と食プロジェクト

【想定事業】 別添のとおり。

(2) 補助金事務の流れ



※③の事業実施計画は、原則として、事業実施日の30日前までに提出してください。ただし、4月中に実施する事業については、3月28日(水)までに提出してください。

(3) ロゴマークの使用 **重要**

○事業の実施に当たっては、チラシ、パンフレット、HP等に伯耆国「大山開山1300年祭」の公式ロゴマークを掲載していただくとともに、事業実施を通じて、伯耆国「大山開山1300年祭」のPR、大山圏域の魅力向上が図れるよう可能な限りのPRを行ってください。

主な補助対象事業は次のとおりである。

(ア) 大山の恵みを感じるプロジェクト

a 米子城・地蔵信仰活用誘客促進事業（米子市）

○補助対象者：米子城跡ライトアップ実行委員会（補助率 10/10）

米子城や城下町（下町）エリアに数多く所在する地蔵札所・祠等を、大山のすそ野に行きわたった地蔵信仰、日本遺産のストーリーを味わえる観光スポットとしてPRし、観光地としての米子城・城下町周辺地域の周遊を促進することを目的として、米子城跡のライトアップと米子城フェスタを実施した。

Yonago Castle Festival
米子城フェスタ
 2018.11.10 (sat)
 10:00-15:00
 米子城三の丸広場
 (湊山球場) 米子市久米町63-1
※米子市役所駐車場または湊山公園駐車場をご利用ください。雨天時は米子市児童文化センターにて開催いたします。

10:00～ オープニング
 米子市長 伊木隆司 挨拶
 米子がいな太鼓保存会子供連による米子がいな太鼓披露
 鳥取菟神楽研究会神楽団による大黒舞披露
※神楽の観覧はご福まきよりとなります。

フェスタ★スタンプラリー 会場内のイベントブースやよなご・マルシェでシールをゲット！5枚以上集めた人には、天空カフェにて米子城ポップアップカードをプレゼント！（先着250名まで）

米子市立山陰歴史館
企画展「米子城 一城の歴史とその調査研究」
 米子城 魅せる！写真展 11/25まで開催(内閣府特別)

10:00～15:00 広場イベント

- よなご・マルシェ**
 米子商工会議所青年部による飲食ブース！
*雨天時は米子市児童文化センターにて開催
- キックターゲット・公園遊び**
 ガイナーレの選手やコーチにキックのコツを教えてもらおう！
*雨天時中止
- お楽しみ戦国体験コーナー**
 手裏剣的当て・武将占い・悪徳斬りなど戦国体験が満載！
*雨天時は米子市児童文化センターにて開催

米子市文化財団フェスティバル

- 昔の遊びいろいろ**
 風作り、羽揚げ、コマ、けん玉体験
 10:00～15:00
- お茶席体験 (有料)**
 児童文化センターの養子家有志が教えてくれます。
- 楽器作り体験 (有料)**
 カスタムギターやオカリナを作ってみよう！
 10:00～/13:00～
- 石垣つめる君に挑戦!**
 実際に米城の石垣を積んでみよう！
 10:00～(先着18組)
- ふちふちドーム (有料)**
 直径6m、高さ6mの大きいドームがやってくる！（雨天中止）
ペンダントを作ろう!
 石のかけらでペンダントを作ろう！
 10:00～/13:00～(各先着50名)
さむらいをやっつけろ!
 司矢でさむらいをやっつけよう！
 10:00～12:00
- 屋台コーナー (有料)**
 ぜんざいなど、売切れちゃいそうです！
*雨天時は米子市児童文化センターにて開催

10:00～しるやま天空カフェ
 米子城天守にて、LA BARとのコラボによるオリジナルブレンド「キャッスルマウンテン(しるやま)ブレンド」のコーヒーを無料でふるまいます。パリスダ直々のドリップを山頂の景色とともにご堪能ください。
*コーヒーがなくなり次第終了 *雨天時は米子市児童文化センターにて開催

14:00～16:00 米子城まるごとウォーク
 城郭ライダーの萩原さちまさんの解説を聞きながら米子城を巡るツアーです！13:50に三の丸広場フェスタ本部テント前に集合してください。16:00に山陰歴史館到着、解散の予定です。(先着30名)
*参加費無料、参加記念品あり *雨天時中止

13:00～14:00 ステージイベント
*雨天時中止
 13:00～13:20 米子がいな太鼓保存会子供連による米子がいな太鼓披露
 13:20～13:40 淀江さんご節披露
 13:40～14:00 まつえ若武者隊殺陣演武

米子城御城印の販売
 今話題の御城印をフェスタ会場でも販売！米子城登城のしるしにぜひお求めください！
 価格:300円(税込)

問合せ (前日まで) 米子市文化財団課 TEL 0859-23-5438 FAX 0859-23-5414 (当日) 米子市立山陰歴史館 TEL 0859-22-7161

米子市HPより

米子城フェスタのパンフレットには、伯耆国「大山開山 1300 年祭」のロゴマーク（以下、「ロゴ」という）も 1300 年祭関連の記載もない。



米子城 魅せる！プロジェクト2018

米子城跡 ライトアップ 2018

—夏の陣—

天守 & 二の丸石垣

7月27日(金)～8月19日(日)
日没から午後10時まで

※7月27日(金)～28日(土)、8月3日(金)～4日(土)、10日(金)～19日(日)は
湊球場のスタンドからご覧いただけます。(グラウンドへの立入りはできませんのでご注意ください。)

米子市では、「史跡米子城跡保存活用計画(平成29年3月策定)」に基づき、米子城跡を確実に保存・管理し、後世にしっかりと継承するとともに、より多くの人に米子城跡にお越しいただき、その価値や魅力について理解を深めていただけるよう活用・整備に取り組んでいます。

＜主催＞米子市・米子市教育委員会

＜協力＞鳥取県西部建設業協会、米子市建設業協議会、鳥取県電業協会西部支部、鳥取県電気工事業工業組合米子支部、鳥取県管工事業協会西部支部、米子管工事業協同組合、鳥取県建築士会西部支部

＜お問い合わせ＞〒683-8686 米子市東町161-2 米子市経済部文化観光局文化振興課

TEL 0859-23-5438 FAX 0859-23-5414

E-mail: bunka@city.yonago.lg.jp

※本事業は『米子城 魅せる！プロジェクト2018 スタンプラリー』の対象事業です。
なお、スタンプは球場開放時のみ配布します。



米子市HPより

ロゴは使用されているが、主催は補助対象者の米子城跡ライトアップ実行委員会ではなく、米子市・米子市教育委員会となっている。

b 伯耆因幡・鳥取県の郷土刀展（倉吉市）

○補助対象者：鳥取県の郷土刀展実行委員会（補助率 10/10）

古来、鳥取県は中国山地の良質な砂鉄を原料とする「たたら製鉄」が盛んであり、刀剣をはじめとする鉄製品の産地として広く知られていた。伯耆安綱をはじめとする刀鍛冶が活躍し、多くの刀匠を輩出している地域であり、近年幅広い層から注目されている刀剣を通じて、大山東麓の豊かな恵みによってもたらされた技術や文化、歴史を広く紹介した。

The poster features two swords against a black background. The sword on the left is labeled '真守' (Mansu) and is identified as a '重要美術品 太刀 銘 大原真守' (Important Cultural Property, Katana, signed by Ohsawa Mansu). The sword on the right is labeled '安綱' (Anko) and is identified as a '太刀 銘 安綱' (Katana, signed by Anko). The central text reads '伯耆因幡の郷土刀' (Local Swords of Hokuriku and Tottori Prefecture) with '鳥取県' (Tottori Prefecture) written vertically. A logo in the top right corner is circled in red and reads '伯耆因幡山麓の郷土刀展' (Local Swords Exhibition of the Mountain Foot of Hokuriku and Tottori Prefecture). The event details at the bottom are as follows:

記念講演会
日本刀の魅力と古伯耆物
[日 時] 8月4日(土)13:30~15:00
[会 場] 倉吉交流プラザ 視聴覚ホール
(倉吉市蘇峰寺町187-1)
[講 師] 石井 彰氏
(公益財団法人日本美術刀剣保存会・
刀剣博物館 学芸部副課長)
[参加費] 無料

2018年
8月4日(土)~26日(日)
[休 館 日] 6日(月)、13日(月)、20日(月)
[開館時間] 9:00~17:00(最終入館16:30)

倉吉博物館
〒682-0824 鳥取県倉吉市仲ノ町3445-8
TEL:0858-22-4409 FAX:0858-22-4415
http://www1.city.kurayoshi.tlg.jp/hakubutsu/
主催：鳥取県の郷土刀展実行委員会

倉吉市HPより

c 古代ロマン観光周遊ルートサミット（南部町）

○補助対象者：古事記ゆかりの地神話と食のまつり実行委員会(補助率 10/10)

「古事記」等、古代神話を活用した観光まちづくりに取り組む地域や団体が一堂に会し、複数の地域を繋ぐ周遊ルートの構築、ブランディング、地域への啓発を行うことを目的に、日本神話にある「大国主命（オオクニヌシノミコト）再生神話」ゆかりの神社「赤猪岩（あかいいわ）神社」のある南部町で、古代ロマンを探るサミットと食の祭りを開催した。

古代ロマン観光周遊ルートサミット

再生神話と食のまつり

オオクニヌシノミコト
大国主命

まつりじゃー

祭

参加費 **無料**

2/17 **SUN** 日
9:30 STRAT(9:00 開場)

ふるさと交流センター
南部町福成 1452-1
母塚山入り口 付近

Time Schedule

- 9:30 開会行事
- 10:00 古代ロマン観光周遊ルートサミット
漫画(アニメ)の朗読
パネルディスカッション
テーマ：『大国主命よみがえり』
- 12:00 芸能発表 『鬼面太鼓』
- 12:30 芸能発表 『鳥取荒神楽研究会』
- 13:00 芸能発表 『土江子ども神楽団』

Access

ふるさと交流センター

JR 米子駅から 約 15 分
P 駐車場あり

主催
古事記ゆかりの地神話と食のまつり実行委員会

共催
南部町 南部町観光協会 天守地域振興協議会
大山町 伯耆国(大山開山1300年祭)実行委員会

お問い合わせ 南部町企画政策課
☎ 0859-66-3113

協力
東西町地域振興協議会・大田地域振興協議会・法勝寺地区地域振興協議会
南さいはく地域振興協議会・あいま手間山地域振興協議会
あいま富有的里地域振興協議会・野城節巻部記録

大山開山 1300 年祭実行委員会HP より

- d 名刀展～森井父子三人の仕事～研師 徳訓、鐵太郎、鞘師 敦央～（日南町）
○補助対象者：日南町（補助率 10/10）

大山開山 1300 年を記念して、「たたら製鉄」が栄え、かつて日本一と呼ばれる和鉄を生産していた日南町において、米子市出身の刀職人森井親子の展覧会・関連事業を開催した。

日南町美術館 特別展
大山開山1300年祭

名刀展

森井父子三人の仕事
研師 徳訓 / 研師 鐵太郎 / 鞘師 敦央

平成30年 11月2日(金)～12月2日(日)

時 間：午前8時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
休館日：毎週日曜日
入館料：一般 500(400)円、高校生 300(250)円、中学生以下は無料
（ ）は中学生以上の対象、高校生以下の場合は12月10日開館まで

関連事業（詳細はチラシ裏面をご覧ください）
オープニングセレモニー＆ギャラリートーク 11月2日(金) 10:00～
刀職人 森井父子のトークショー 11月2日(金) 13:00～15:00
日本刀研師・鞘師の史蹟 11月3日(土) 13:00～15:00
日本刀の鑑賞と手入れの仕方 11月11日(土) 13:00～15:00
刀剣の歴史講座 11月18日(土) 13:00～15:00

刀 師
（表）高橋正徳氏・相澤大徳氏・山田清太郎氏
（裏）森井父子・大月吉日 著野野氏

本 館
（表）高橋正徳氏・相澤大徳氏・山田清太郎氏
（裏）森井父子・大月吉日 著野野氏

日南町美術館 689-5212 鳥取県日南町新白濱町785番地 TEL 0859-77-1119 FAX 0859-77-1115 <http://culture.town.nichinan.tottori.jp/>

主催：日南町、日南町教育委員会、日南町観光協会
後援：鳥取県中務テレビ放送、BS5鳥取放送、朝日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、エフエム鳥取、鳥取県新聞社、BS鳥取 FM
毎日新聞鳥取支局、産経新聞鳥取支局、鳥取県教育委員会、TSN鳥取中央テレビ、新日本放送鳥取支局、日本放送テレビ

鳥取県HPより

e 奥日野たたら製鉄体験（日野町）

○補助対象者：奥日野たたら製鉄プロジェクト実行委員会
（補助率 10/10）

奥日野地域で古来より受け継がれた「たたら製鉄」の仕組みやその歴史について、各種体験を通じて楽しみながら学ぶことで、奥日野及び大山圏域の魅力向上を図ることを目的に「第5回 平成のふいご祭り」を開催した。

第5回 平成のふいご祭り

奥日野たたら製鉄体験イベント

たたら製鉄を
まるごと楽しむ一日

11/4 (日)
9:00 ~ 14:00

伯耆国「大山開山」1300年祭

【会場】
日野町役場前広場 (JR 根雨駅下車すぐ)
日野町山村開発センター (役場隣り)

◆オープニングセレモニー・金持神社獅子舞【9:00～】
◆三たたら操業ワークショップ
【8:50～】火入れ
【10:00～12:30】砂鉄投入体験
【13:30～】鋳（けら）出し
◆鍛冶屋体験【10:00～13:30】
真っ赤に熱した鉄を打って、自分だけのペーパーナイフや切り出しナイフなどを作ろう！
(体験料：ペーパーナイフ500円、切り出しナイフ1,500円ほか)

◆たたらプチ講座【10:30～13:30】※「たたら電子紙芝居」上映付き
たたら製鉄にまつわる3つのテーマで、1コマ30分、専門家が語るプチ講座です。
【10:30～】近藤家住宅について (米子工業高等専門学校建築学科准教授 金澤 雄記氏)
【11:30～】根雨の町並と建造物について (鳥取県埋蔵文化財センター文化財主事 松本 裕理氏)
【12:45～】根雨周辺のたたら遺跡について (伯耆国たたら顕彰会事務局長 藤原 洋一氏)

◆飲食・バザーコーナー【12:00～14:00】
手打ちそばやおこわ、お菓子のほか、手づくり木工品・手芸品などを販売します

◆根雨まちプラ【14:00～15:30】
たたらにゆかりの深い「たたら業校根雨業舎（町公舎）」「近藤家住宅」「町歴史民俗資料館」など、根雨のまちなみをブラリとご案内します (先着10名、当日受付)

【同日開催】第10回ひの傳大台 (9:50 根雨駅前集合、参加費2,000円) ★ふいご祭参加、古民家カフェで休息、延暦寺参拝御礼茶、時行など盛りだくさん / 【申込み: 10月末までに080-1637-7982 梅林まで】

主催：奥日野たたら製鉄プロジェクト実行委員会・伯耆国たたら顕彰会
後援：鳥取県西部総合事務所日野振興センター 日野町 江府町 日野町 日南町教育振興委員会
江府町教育委員会 日野町教育委員会 伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会
協賛：奥日野カイト倶楽部 鍛冶工房空光
協力：金持青年会 日野町食生活改善推進協議会 大夢多夢 十八願 (株) 備載
そば道場たたらや セルプひの

問合せ：実行委員会事務局 (日野町企画政策課内)：電話0859-72-0332

「都合山たたら遺跡」の出土品についてのバナー展示も！

大山開山 1300 年祭実行委員会HP より

(イ) 緑のプロジェクト

a 水木しげるロードリニューアルオープニングイベント (境港市)

○補助対象者：水木しげるロード・リニューアル大作戦本部(補助率 10/10)

地域に根付く妖怪文化や大山圏域の夜の魅力をPRし、宿泊客の増に結び付けることを目的に、「すべての人にやさしく、誰もが楽しめる道づくり」を掲げてリニューアルした水木しげるロードにおいて、妖怪と親しみながら、妖怪の世界や街の灯りや夜の賑わいを楽しむイベントを開催した。

水木しげるロード イベント ガイドマップ

水木しげるロード全線 記念パレード 土曜夜市
 時間：10:30~11:15 場所：水木しげるロード(松ヶ枝町~大正町) 時間：18:00~21:00 場所：水木しげるロード全線

演出照明お披露目
 時間：20:00~22:00 場所：水木しげるロード全線

JR 境港駅 鬼太郎列車リニューアル 第3弾 出発セレモニー
 時間：14:00~14:30 場所：JR境港駅前

無料シャトルバスのりば

駅前ストリート ゲゲゲ食堂
 時間：10:00~16:00 場所：JR境港駅前ストリート

水木しげる記念館 水木しげる記念館 無料開放!
 時間：9:30~20:00

マクロ解体ショー
 時間：11:30~12:30 場所：水木しげる記念館 前庭

みなとさかい交流館 水木しげるの鬼太郎 トークショー
 時間：15:30~16:30 場所：みなとさかい交流館2階

観覧には整理券が必要です。当日午後1時30分より境港駅前公園で配布開始

増港管理組合設立60周年記念 みなとさかい交流館 なつまつり 夜間開放
 時間：18:00~20:00 場所：みなとさかい交流館1・2階

無料シャトルバス運行
 当日、台場公園無料臨時駐車場から水木しげるロードまで無料シャトルバスを運行いたします。

当日、周辺の駐車場は大変な混雑が予想されますので、なるべく公共交通機関や、台場公園無料臨時駐車場をご利用ください。

地元のおいしい店が、JR 境港駅前に集結!

(株)カツキ 海鮮焼きそば、焼きうどん、中央公園、ひさかた	田村商店 たまたま半端の味噌、すもも味噌、海苔、海苔巻	(有)ワイング 焼酎、焼酎、焼酎、焼酎、焼酎、焼酎	(有)こめや産業 お米、お米、お米、お米、お米、お米
久米桜葉酒(株) 久米の酒、久米の酒、久米の酒、久米の酒	(一財)大山 恵みの屋公社 お米、お米、お米、お米、お米、お米	千代もすび(株) お米、お米、お米、お米、お米、お米	竜富の蔵 お米、お米、お米、お米、お米、お米
かしわぞ お米、お米、お米、お米、お米、お米	当たり前田がー お米、お米、お米、お米、お米、お米	南が倉水産 お米、お米、お米、お米、お米、お米	ケブケブ お米、お米、お米、お米、お米、お米

開催中!! 伯耆国「大山開山」年祭
 大山寺が開創されてから1500年の節目の今年、名経・大山の歴史、文化自然、衣食住が盛り込まれた多岐にわたる大山開山祭各地で開催しています!この機会にぜひ大山の魅力を体験・満喫してください!

境港市役所 水木しげるロード・リニューアル大作戦本部
 TEL.0859(47)1068 FAX.0859(44)7957 E-mail: tsusyokanko@city.sakaiminato.lg.jp

リニューアル大作戦ちらし(裏) 境港市HPより

水木しげるロード・リニューアル大作戦本部は境港市産業部通商観光課が窓口であり、本部長は境港市長である。

別紙

平成30年度伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業実施計画

区 分	内 容
1. 事業実施団体	水木しげるロード・リニューアル大作戦本部
2. 代表者職・氏名	役職 本部長 氏名 中村勝治
3. 住所	境港市上道町 3000
4. 担当者(連絡先)	氏名 XXXXXXXXXX E-mail tsusyokanko@city.sakaiminato.lg.jp
	電話番号 0859-47-1068 FAX番号 0859-44-7957
5. 事業の名称	水木しげるロード・リニューアル大作戦
6. 事業の目的	「水木しげるロード」のリニューアルオープン(7/14)に合わせて「水木しげるロード・リニューアルオープン大作戦本部」を立ち上げ(4/2 設立)、完成記念式典や完成記念イベントを行い、「水木しげるロード」のリニューアルオープンと「さかなと鬼太郎のまちさかいみなど」を県内外へPRする。
7. 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ①実施予定日 平成30年7月14日～平成31年3月31日 ②対象者・参加予定人数 水木しげるロードの観光客(参考 H29 水木ロード入込客: 2,041 千人) ③開催場所 水木しげるロード周辺ほか ④事業概要 「水木しげるロード」リニューアルオープンに合わせて、「水木しげるロード・リニューアルオープン大作戦本部」を立ち上げ、完成記念式典、完成記念イベント等を行い、「水木しげるロード」のリニューアルオープンと「さかなと鬼太郎のまちさかいみなど」を県内外へPRする。
8. 収支予算の概要 (単位: 円)	(収入) ・伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業補助金 13,000,000 円 ----- (支出) ①グランドオープニングセレモニー(式典開催費用) ・セレモニー委託料 1,000,000 円 ②リニューアル完成記念イベント(イベント開催委託費) ・イベント委託料 7,500,000 円 ・鬼太郎音頭CD制作 2,000,000 円 ③PR経費 ・ポスター・チラシ等製作費 2,500,000 円
関係市町村名	境港市
担当者名	XXXXXXXXXX
電話番号	0859-47-1068
所属名	通商観光課
E-mail	tsusyokanko@city.sakaiminato.lg.jp
FAX番号	0859-44-7957

※関係市町村が複数の場合、代表で窓口となる市町村名等を記載してください。

事業計画書には「大山開山1300年祭」に関連づけた説明はない。

また、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会の補助金交付決定に係る支出負担行為書の概要説明欄も下記のとおりとなっており、大山や1300年祭と関連づける内容となっていない。

1 概要

事業実施団体	事業名称	事業内容	交付決定額
水木しげるロード・リニューアル大作戦本部	水木しげるロードリニューアルオープニングイベント	・水木しげるロードのリニューアルオープン(7/14)に際し、記念式典や完成記念イベントなどを行い、より深みを増した妖怪の世界、夜の水木しげるロードの魅力を県内外にPRする。	13,000千円

また、実績報告書も大山や1300年祭関連について記載がない。

様式第4号(第8条関係)

平成30年度伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業補助金事業報告書

区分	内容			
1. 申請者名	水木しげるロード・リニューアル大作戦本部			
2. 代表者職・氏名	役職	本部長	氏名	中村 勝治
3. 事業の名称	水木しげるロード・リニューアル大作戦			
4. 事業の実施結果	<p>①実施日、②参加人数、③開催場所、④事業概要など</p> <p>①実施日 平成30年7月14日(土) 10:00~22:00</p> <p>②参加人数 7月14日(土): 36,393人 ※水木しげるロード入込み客数(参考) 7月15日(日): 39,548人 7月16日(月・祝): 24,686人 ※14~16日の3連休で100,627人</p> <p>③開催場所 水木しげるロード</p> <p>④事業概要 「水木しげるロード」のリニューアルオープンに合わせて、「水木しげるロード・リニューアル大作戦本部」を立ち上げ、完成記念式典、完成記念イベント等を行い、オープンから3日間の入込み客数は10万人を突破した。伯耆国圏域への観光入込み客数の増加を図る上での有力な観光スポットである水木しげるロードのリニューアルを全国にPRすることにより、将来に向けて継続的に誘客拡大を図る基礎を固めることができた。</p>			
5. 成果	<p>西日本豪雨など度重なる自然災害にもかかわらず、H30年の水木しげるロードの観光入込み客数は、274万人(前年比134%)となり、5年ぶりに250万人の大台を突破し、水木しげる記念館の入館者数も23万人(対前年比135%)と5年ぶりに23万人台を突破した。</p> <p>観光協会が実施したアンケート結果では、水木しげるロードを訪れた観光客のうち周辺立ち寄り先として約2割の人が伯耆国圏域の他の観光地を訪れ、約4割の人が市内を含めた圏域に宿泊しており、圏域の観光地への誘客促進の一助となった。</p> <p>また、リニューアル事業で整備した「妖怪影絵」など夜の魅力アップにより、観光客の夜の滞在時間も延長され、宿泊を伴う観光客や夜の飲食店利用者の増加の要因となった。</p>			
6. その他	<p>○仕入控除税額の有無 (有・無) ※「有」、「無」のいずれかに○をしてください。「無」の場合は、その理由を記載してください。 (免税事業者であるため・その他(事業実施による収入が無い))</p>			

注: 必要に応じ、実施した事業内容がわかる書類も提出してください。

成果のアンケート結果で「水木しげるロードを訪れた観光客のうち約2割の人が伯耆国圏域の他の観光地を訪れ」くらいが協働・連携事業に関係があると思われるが、提出を受けた資料を見ても「水木しげるロード・リニューアル」のことしか記載されていないため、単に水木しげるロードのリニューアルセレモニー等の費用を負担しただけのように思われる。

b 奥大山古道ウォーク（江府町）

○補助対象者：奥大山古道保存協議会（補助率 10/10）

奥大山古道を歩き、後醍醐天皇ゆかりの「御机だんご汁」や栽培が盛んになってきている「奥大山そば」の振る舞い、地元の新鮮野菜と新米の販売や、伝統の「下蚊屋荒神神楽」の鑑賞などを楽しむウォークイベントを開催した。

100周年
歴史の奥大山古道は、魅力がいっぱい
紅葉の奥大山と後醍醐天皇ゆかりの味覚と伝統の神楽を堪能

2018 奥大山 古道ウォーク
okudaisen kodou-walk
11月10日(土)
(小雨決行)

参加者募集中

日程
鍵掛峠 ⇒ 日本の原風景御机集落 ⇒ 笠原原台地 ⇒ 木地師の里下蚊屋集落へ (ウォーク約6km)

午前8:30 受付開始(奥大山スキー場(エバーランド奥大山))
9:00 開会式エバーランド奥大山 専用バスで鍵掛峠へ移動 古道ウォーク開始 各班ごとに鍵掛峠出発
11:30 御机到着、休憩・昼食、団子汁サービス(予定) 特産品販売
12:30 御机麓～茅葺小屋～峠越え～細谷川～笠原
午後1:30 笠原原到着、バスで下蚊屋へ
2:00 下蚊屋荒神神楽鑑賞
3:00 解散予定(下蚊屋からバスで奥大山スキー場へ)

集会所 奥大山スキー場(エバーランド奥大山)(駐車場有)
午前8時30分に受付開始

定員 130名 (申込み先着順、当日の申込は受け付けません。)

申込方法 江府町ホームページから申込書をダウンロードし、ファクシミリ又はメールで申込みください。(郵送可)
ファクシミリ 0859-75-3455 (江府町役場農林産業課)
メールアドレス okudal.info@town-kofu.jp

締切 10月25日(木)必着

参加費 1人 1,000円 (当日支払い)

服装・持ち物 弁当、水筒、雨具等持参、山を歩く準備でご参加ください。

主催：奥大山古道保存協議会
共催：グラウンドワーク大山(福山)財団法人公益財団・日野川の源流と流域を守る会
協力：郡松集落・下蚊屋荒神神楽保存会(神社) サントリープロダクツ(サントリー天然水奥大山バナの森工場) 後援：大山国立公園協会・江府町・江府町教育委員会・鳥取県・江府町観光協会

お問合せ先 奥大山古道保存協議会事務局 〒689-4401 鳥取県日野郡江府町江尾475
TEL 0859-75-6610 平日のみ 午前9時～午後5時(江府町役場農林産業課)

江府町HPより

c 東大山古道トレッキング（倉吉市・琴浦町）

○補助対象者：法人U（補助率 10/10）

東大山エリアを舞台に、歴史をたどるロングトレイルや関金温泉と旧国鉄倉吉線廃線跡を巡るトレイル、大山滝のトレイルなど、さまざまなコースのトレッキングを実施。

伯耆国「大山開山」1300年祭

東大山古道
トレッキング

9/14・15・16 2泊3日

定員20人
(最小催行人員10人)

大山開山1300年・歴史を辿る
ロングトレイル 総距離 53.8km

歴史、名滝、名港を結ぶ東大山古道「川床道」はその昔、倉吉、関金、東伯方面から地藏信仰と牛馬市のため人々が往来していました。「大山のみち」の中でも最も険しいこのコース核心部では、西日本最大級のブナ林が見られます。当時の面影を今に伝える石畳などの悠久のときに思いを馳せ、東大山山麓の雄大な自然と温泉を満喫できます。

倉吉市HPより

- d 日本一のホタル観賞を目指す「福万来ホタル乃国」プロジェクト（日南町）
 ○補助対象者：日南町観光協会(補助率 10/10)

ヒメボタルとゲンジボタルの競演が見どころの福万来のホタル観賞地にて、遮光ネット設置等の保護活動やシャトルバスの試験的運行など、環境への負荷低減と持続可能な観光誘客を両立させる取組を推進。



日南町観光協会HPより

鳥取県 日南町 福万来ホテル乃国2018

無料シャトルバスの運行について

期 間: **6/26(火)~7/10(火)**

発着地: **道の駅 にちなん日野川の郷**
鳥取県日野郡日南町生山366

時 間: **行き便 19:15~20:20**

帰り便 20:30~21:30

※それぞれ4便から10便を運行

入園料(ホテル保護協力金)

500円(高校生以下無料)

ヒメボタル特設撮影スポットでの撮影について

2,000円(三脚1台につき)

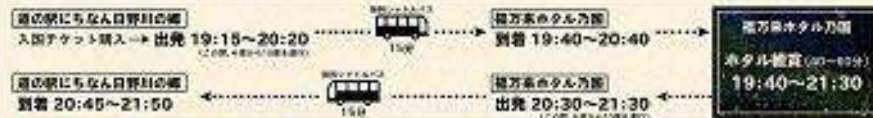
禁止事項

- ①カメラのフラッシュ、生息地内での携帯電話の使用、懐中電灯や携帯電話のライトの使用
(ホタルが発光を止めてしまいます)
- ②サンダルや短パンなど前足が露出する履物での観賞
(マムシが出ます)
- ③生息地内での虫除けスプレー(ホタルが死にます)



宿泊施設	住所	TEL
日南町	日南町吉野2-2	☎0859-82-0036
日南町	日南町吉野2-2	☎0859-82-0037
イナビ	日南町吉野2-5	☎0859-82-0073
志保亭	日南町吉野729	☎0859-82-0009
ふるさと民謡パフォーマンス	日南町吉野上2982-7	☎0859-82-1188
ゆふいん	日南町吉野上2982-7	☎0859-82-0421
日南町	日南町吉野1615	☎0859-82-0006

福万来ホテル乃国観光のタイムテーブル



日南町への行き方

日南町観光協会 TEL:0859-82-1715

- 鳥取方面からのアクセス
 - ① 鳥取駅 → 鳥取バス → 道の駅にちなん日野川の郷 約1時間
 - ② 鳥取駅 → 鳥取バス → 道の駅にちなん日野川の郷 約45分
- 岡山方面からのアクセス
 - ① 岡山駅 → 中国自動車道 → 鳥取IC → 道の駅にちなん日野川の郷 約2時間40分
 - ② 岡山駅 → 中国自動車道 → 鳥取IC → 道の駅にちなん日野川の郷 約2時間30分
- 岡山方面からのアクセス
 - ① 岡山駅 → 中国自動車道 → 鳥取IC → 道の駅にちなん日野川の郷 約2時間
 - ② 岡山駅 → 中国自動車道 → 鳥取IC → 道の駅にちなん日野川の郷 約1時間40分



日南町観光協会HPより

(ウ) 水と食プロジェクト

a 地ビールフェスタ伯耆国“大山”（伯耆町）

○補助対象者：地Beer Fest大山実行委員会（補助率10/10）

人気の地Beer Fest大山を、1300年祭記念イベントとして開催。

大山開山1300年祭記念限定醸造ビール「大山の香るラガー」をはじめとする地ビールの提供を通じ、大山山麓の水の素晴らしさを全国にアピールした。

Find us on Facebook

伯耆町 伯耆町観光協会 大山町

Daisen Beer Queen's English Watanabe

地beer Fest 2018

Beautifully crafted beer, craft beer in nature

伯耆国「大山開山1300年祭」大山

6月9日(土)~6月10日(日)

11am から 9pm まで 10am から 4pm まで

TICKETS / チケット	
advance 前売り券	on the day 当日券
ビール5杯券(グラス無し) 1600円 JTBエンタメ-コンビニ番号: 0248691	2000円
1日飲み放題(グラス付き) 4500円 JTBエンタメ-コンビニ番号: 0248692	5000円

鳥取県大山郡水高高原
Tottori Prefecture, Daisen, Masumizu Highlands
〒689-4215 鳥取県大山郡伯耆町水高高原1099-50

English 090 5269 5962
info@beerfestdaisen.com

大山開山1300年祭実行委員会HPより

b 大山開山 1300 年祭記念 奥大山うまいもんフェスティバル (江府町)

○補助対象者：江府町(補助率 10/10)

大手飲料メーカーのCMの舞台に起用され、多くの人を訪れるスポットとなった奥大山で、大山の恵みを受けた「食」や「大山」の素晴らしさを体感してもらうとともに、地元の食の提供を通じ、地域の活力としていくことを目的に地元素材を生かした食のフェスティバルを開催した。



大山開山 1300 年祭実行委員会HP より
ロゴの使用はあるが、PR文は前年のものと同じであった。

イ 決算額

決算額 総事業費 51,219 千円 県負担額 25,609 千円(1/2)

ウ 監査の結果

(ア) 事業のPRについて【実行委員会に対する意見】

平成30年度伯耆国「大山開山1300年祭」協働・連携事業補助金実施要項（以下「実施要項」という）によれば、「事業の実施に当たっては、チラシ、パンフレット、HP等に伯耆国「大山開山1300年祭」の公式ロゴマークを掲載するとともに、事業実施を通じて、伯耆国「大山開山1300年祭」のPR、大山圏域の魅力向上が図られるよう可能な限りのPRを行ってください。」となっている。

しかし、パンフレット等にロゴマークの掲載のないもの、毎年実施しているイベントにロゴマークを使用しただけと思われるもの、1300年祭や大山（圏域）との関連が一見しただけでは不明なものが見受けられる。

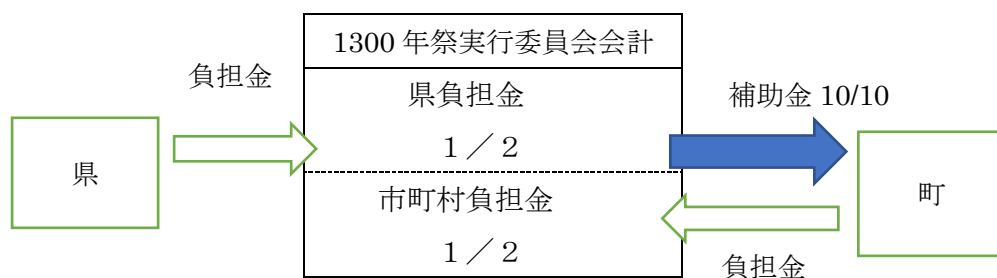
この補助事業の目的は、伯耆国「大山開山1300年祭」や大山（圏域）の魅力为全国に向けてPRするものであるため、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会は、各補助団体に対し、大山や1300年祭とのつながりを前面に出したPRとするよう徹底すべきだったと考える。

(イ) 市町村への補助について【実行委員会に対する意見】

伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会には、県のほか、県中西部の市町村が負担金を支出している。（負担割合 県1/2、市町村1/2）

実施要項の「補助金事務の流れ」では、市町村は事業実施団体（補助団体）と連携して事業の企画・調整を行うこととなっているが、補助事業の中には、直接、町が事業実施団体として補助を受けているものがある。

町の負担金の算定には、当該補助事業（イベント）の実施に要する経費の1/2相当額が含まれている（複数の市町村で1/2相当額を分担する場合もある）。負担金を支払っている町が、当該補助事業を町主催事業として直接補助金を受領することは、実質的に県負担金を上乗せして返金している形になるので、市町村ではない実行委員会等の団体を補助対象とすべきだったと考える。



(3) 大山圏域魅力向上に向けた民間団体等の取組支援

ア 事業の概要

伯耆国「大山開山 1300 年祭」の情報発信を促進する取組や、大山圏域の魅力向上とその継続・発展、担い手となる人材確保・育成に資する取組を実施する団体等を支援するため、大山圏域魅力向上補助金を交付している。

鳥取県補助金等交付規則等を準用して行っている補助金交付事業であり、「大山圏域魅力向上補助金交付要綱」を作成して、補助金募集を行っている。

大山圏域魅力向上補助金交付要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、鳥取県補助金等交付規則（昭和32年鳥取県規則第22号。以下「規則」という。）第4条の規定に基づき、大山圏域魅力向上補助金（以下「本補助金」という。）の交付について、規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

補助金の申請時期は実行委員会の会長が定めることとしているが、当初の募集（1次募集）で要件を満たす申請が少なかったため2次募集を行った。

(交付申請の時期等)

第4条 本補助金の交付申請は、実行委員会の会長（以下「会長」という。）が別に定める日までに行わなければならない。

2 規則第5条の申請書に添付すべき同条第1号及び第2号に掲げる書類は、それぞれ様式第1号及び様式第2号によるものとする。

審査は実行委員会が設置した審査会で行っている。

(審査)

第5条 実行委員会は、第4条に定める交付申請を受け、補助対象事業を選定するために審査会を設置し、審査を行う。

2 審査会の設置及び審査方法については、会長が別に定めるものとする。

補助限度額は、20万円と定められている。

別表（第3条関係）

1 補助事業	2 事業実施主体	3 補助対象経費	4 補助限度額
大山圏域魅力向上事業	鳥取県内に拠点をおく団体及び鳥取県内在住の個人	補助事業を実施するために必要と実行委員会が認める経費。なお、団体の運営に係る経常的な経費、団体構成員に対する個人給付的な経費（事業に主要な役割を果たす者を除く。）、食糧費（事業実施に必要不可欠なものとして実行委員会が認めるものを除く。）、備品購入費等、交付対象として不相当と認められる経費は対象としない。	20万円

イ 決算額

決算額 総事業費 4,598 千円 県負担額 2,299 千円(1/2)

ウ 監査の結果

(ア) 同一団体による補助金の複数申請について【実行委員会に対する意見】

団体Bと団体Cは、1次募集と2次募集の両方に別事業で応募し、補助金を2回受けている。

上限20万円の2回分で1団体が40万円受領しているが、「1次採択を受けた団体が別事業を行う場合は2次採択を受けられない」との規定はないので問題ないと担当課より説明を受けた。そうであるなら事業を別にすれば同じ団体が何事業でも申請し採択されれば、補助金を受けることができる。

当該補助金は多く県民の方に有効に活用してもらうことを目的として補助限度額を設けていると考えられ、何件もの補助金申請を行い、1団体が限度額の20万円を超えて補助金の交付を受ける行為は目的の趣旨に反しており問題であると考えます。

(イ) 申請書の審査について【実行委員会に対する意見】

団体Bと団体Dは、大山圏域魅力向上補助金の外、県補助金である『第3回「山の日」記念全国大会』機運醸成支援事業補助金の申請も行っている。

補助金申請書に、同一事業で補助金の重複支給がないか確認するための項目として、「5・その他（1）他の補助金の活用の有・無欄」を設けており、有・無の記載を求めることとしているが、記載がなかった。事業実績を確認したところ、それぞれ別事業として実施しており、重複した経費はなかったが、大山圏域における多種多様な補助事業がある中、重複申請が行われないよう、県・市町村等他の団体から

の補助事業の受給状況についても申請段階で確認することを求める。

5. その他	<p>(1) 他の補助金の活用の有無 (有・無)</p> <p>※「有」、「無」のいずれかに○をしてください。「有」の場合は、活用する補助金名やその事業内容、当該補助金に係る問合せ先(補助金を所管している部署名や団体名及び連絡先)を記載してください。</p>
	<p>(2) 仕入控除税額の有無 (有・無)</p> <p>※「有」、「無」のいずれかに○をしてください。「無」の場合は、その理由を記載してください(例「免税事業者であるため」)</p>

注1：上記の内容が記載されていれば、様式は別様で構いません。

注2：下記の書類も提出してください。なお、ポイント(例えば、来年度にかけての継続の内容、参加者負担の考え方等)がまとまった必要最小限のものとしてください。

- ① 団体規約(規約がない場合は、団体目的、活動概要がわかる書類)、構成員名簿、年間事業計画書、事業年度予算書など
- ② 事業内容に関するもの(チラシ、計画書など)

(ウ) 募集方法について【実行委員会に対する意見】

大山圏域魅力向上補助金の募集要綱は、以下の通りである。

[1次募集要項]

(1) 募集

- 3月30日(金)に伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会のホームページに申請様式等を掲載。ホームページ：<http://www.daisen1300.org/>
- ホームページから申請用紙をダウンロードの上、申請をお願いします。(郵送又は持参)
- 申請事業に係る参考資料等がある場合は、申請書に添付してください。
- 申請期限：4月23日(月)必着
- 申込み受付後、審査会にて審査の上、採択団体等を決定します。
 - ※この度の募集では25事業程度を採択予定。採択条件を満たさない事業が多数の場合は25事業未済となる場合もあります。
 - ※平成28、29年度に不採択となった場合でも、再度申請することができます。(再申請を行う場合、事業目的である伯耆国「大山開山1300年祭」の情報発信、大山圏域の魅力向上とその継続・発展、担い手となる人材確保・育成に高い効果を生ずるよう事業内容の見直し、磨き上げを行ってください。)

(2) 事前審査

- 申込み(申請書の提出)に先だて、申請書の記載内容の不備や必要な提出書類等を形式的に確認するための事前審査を行います。
- 事前審査は事業採択を保証するものではありません。最終的な採択団体は審査員による審査会で決定します。
- なお、事前審査は必須ではありませんが、円滑に審査手続きの審査が進むようできるだけ受けていただくことをお勧めします。
- 事前審査受付期間：3月30日(金)から4月16日(月)まで
 - ※事前審査を希望の場合は事前に事務局までご連絡ください。事前審査の日程を調整させていただきます。

(3) スケジュール

平成30年3月30日(金)	ホームページによる募集開始
平成30年4月16日(月)	事前審査受付締切
平成30年4月23日(月)	募集締切
4月下旬	審査実施
5月上旬	採択団体の選考、発表

※審査実施、採択団体の選考・発表のスケジュールは見込みであり、前後することもあります。

募集締め切りを平成30年4月23日と定めており、採択団体の発表を5月上旬と定めて実施しているが、「25事業程度を採択予定。採択条件を満たさない事業が多数の場合は25事業未済となる場合もあります。」と記載している。

今回の募集で採択されたのは14事業で全事業に対して補助金が支払われている。

しかし25事業に満たなかったため2次募集を行っている。

[2次募集要項]

3 応募方法

(1) 募集（2次募集）

- 5月25日（金）に伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会のホームページに申請様式等を掲載。ホームページ：<http://www.daisen1300.org/>
- ホームページから申請用紙をダウンロードの上、申請をお願いします。（郵送又は持参）
- 申請事業に係る参考資料等がある場合は、申請書に添付してください。
- 申請期限：6月18日（月）必着
- 申込み受付後、審査会にて審査の上、採択団体等を決定します。
※2次募集では11事業程度を採択予定。採択条件を満たさない事業が多数の場合は11事業未満となる場合もあります。
※平成28、29年度及び平成30年度1次募集で不採択となった場合でも、再度申請することができます。（再申請を行う場合、事業目的である伯耆国「大山開山1300年祭」の情報発信、大山圏域の魅力向上とその継続・発展、担い手となる人材確保・育成に高い効果を生ずるよう事業内容の見直し、磨き上げを行ってください。）

(2) 事前審査

- 申込み（申請書の提出）に先だって、申請書の記載内容の不備や必要な提出書類等を形式的に確認するための事前審査を行います。
- 事前審査は事業採択を保証するものではありません。最終的な採択団体は審査員による審査会で決定します。
- なお、事前審査は必須ではありませんが、円滑に審査手続きの審査が進むようできるだけ受けていただくことをお勧めします。
- 事前審査受付期間：5月25日（金）から6月11日（月）まで
※事前審査を希望の場合は事前に事務局までご連絡ください。事前審査の日程を調整させていただきます。

(3) スケジュール

平成30年5月25日（金）	ホームページによる募集開始
平成30年6月11日（月）	事前審査受付締切
平成30年6月18日（月）	募集締切
6月下旬	審査実施
7月上旬	採択団体の選考、発表

※審査実施、採択団体の選考・発表のスケジュールは見込みであり、前後することもあります。

平成30年5月25日に募集開始し、7月11日に採択団体の発表を行って9事業を採択し全事業に補助金を交付している。

平成29年度も同様に2次募集（1次募集で補助金を受給した者も応募）を実施しているが、採択要件を満たす応募者が少ないのであれば、採択団体を減らすべきではないかと考える。

(4) 1300年祭及び大山圏域の魅力の広報PR

ア 事業の概要

旅行ガイドブックや雑誌等での広報、パンフレット等作成、チューリップマラソン等での広報・PRを行う事業であり、県外向けでは観光誘客を主とし、県内向けでは、観

光誘客に加え、地域の魅力の再発見、地域資源の掘り起こし、磨き上げのための機運醸成・広報を推進している。

行政においては県政だよりや市町村広報における1300年祭関係記事の連載、民間においては1300年祭特集の掲載により、圏域が一体となって情報発信を行い、観光客や県民が様々な場面で情報を得られるように取り組んだ。

また実行委員会主催事業及び市町村協働・連携事業で行われる各種イベントにおいて、他のエリアでのイベント情報等を広報し、大山や大山山麓を嗜好する層に効果的に情報を提供して周遊性を高めることができた。

広報媒体を利用したPR・情報提供も行っており、公式ホームページによるイベント情報等の発信し、大山の魅力を紹介している。

イ 決算額

決算額 総事業費 57,710 千円 県負担額 28,855 千円(1/2)

ウ 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。

(5) 伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等関係事業

ア 事業の概要

伯耆国「大山開山1300年祭」を機会に、「自然との共生」をテーマとして、「失われやすい自然を守りながら、豊かな自然の中に生きること」の重要性・普遍性、さらに、ハンディキャップ等の有無に関わらず誰もがその自然の豊かさを満期できるような『新しい自然との共生』の必要性について全国に発信するための記念式典と、来賓・関係者を招待してレセプションを開催した。

イ 決算額

決算額 25,399 千円 (県負担額 10/10)

ウ 監査の結果

負担金の戻入について【県に対する意見】

伯耆国「大山開山1300年祭」記念式典等開催事業費として26,565千円が予算計上され、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会負担金として精算払で支払われているが、1,166,464円が節減された額として戻入されている。

実行委員会への負担金の支出にあたっては、実行委員会からの請求書(添付書類として、

委員会規約、予算書等（請求額が収入として計上されているかどうかの確認資料）をもって交付しており、また実績報告についても報告を求めることとはなっていない。

また、支払時に返還があることを想定していないことから、支払区分は「精算払」とされているため、戻入を行う際の区分は「過誤払戻入」とされている。

このような、戻入の可能性がある負担金については、鳥取県補助金等交付規則に規定する「負担金交付要綱」を制定し、概算払や額の確定に伴う精算手続等について、あらかじめ定めておくことも検討すべきではないかと考える。

3 大山山麓観光推進協議会DMO推進調査部会（特別会計）事業

(1) 大山圏域の広域観光受入体制・環境整備

ア 事業の概要

この事業は大山山麓観光推進協議会（DMO推進調査部会）が行っている。

大山山麓観光推進協議会規約

(名称)

第1条 本会は、大山山麓観光推進協議会（以下（本会）という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、趣旨に賛同する大山山麓エリアの市町村（以下「関係市町村」という。）並びに鳥取県及び民間関係者との協力と連携の下に、広域的な観光振興策を推進し、大山山麓エリアにおける優良な周遊滞在型観光地の形成に資することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1) 広域観光振興に関する連絡調整
- (2) 周遊滞在型観光地の形成に関する調査研究及び広域連携事業
- (3) その他前条の目的を達成するために必要な事業

(構成)

第4条 本会は、関係市町村の長（以下「関係首長」という。）及び鳥取県西部総合事務所長（以下「所長」という。）（以下「構成員」という。）をもって構成する。

(事務局)

第13条 本会の事務を処理するため、事務局を置く。

- 2 事務局は、鳥取県西部総合事務所地域振興局（西部観光商工課）が担うこととし、事務局長を置く。
- 3 事務局長は、地域振興局長の職にある者をもって充てる。
- 4 その他、事務局に関し必要な事項は、会長が別に定める。

大山山麓観光推進協議会は鳥取県西部総合事務所長が会長となり、事務局は鳥取県西部総合事務所地域振興局（西部観光商工課）が担うこととなっている。また、事務局長は地域振興局長の職にある者をもって充てることとなっている。

大山山麓観光推進協議会の会計規程によると、契約は原則として鳥取県の財務に関する諸規程を準用することとなっており、会計に関し必要な事項は鳥取県の諸規程に準ずるものとする定められている。

大山山麓観光推進協議会は鳥取県西部総合事務所地域振興局が主として運営しているものであり、鳥取県の諸規程に準拠したものであるため、補助金や助成金などの支払いや契約についても監査の対象として選定した。

協議会事業費に係る負担金の総額は50,000千円で、半額の25,000千円を県が負担し、この負担額を協議会で4事業に分けて支出している。

事業名	予算額
DMO事業推進・大山パワーブランド化推進事業	14,000千円
広域観光連携体制整備事業	8,000千円
大山エコトラックシステム構築事業	13,000千円
周遊バスと情報提供アプリによる周遊促進事業	15,000千円
合計	50,000千円

(ア) DMO事業推進・大山パワーブランド化推進事業

(株)Eに随意契約の形で事業を委託している。

内容は下表のとおりである。

実施項目	内容等
大山ワンダー事業 (ブース出店、プロモーション)	・大阪ミナミ夏祭り 2018&にぎわいフェスタ ・道頓堀リバーフェスティバル ・広島フードフェスティバル ・秋のBSSまつり

情報発信テレビ番組の制作及び放送	JNN中四国6局ネット番組「大山に恋して～大山開山1300年祭 満喫女子旅～」 ※エンドロール特別協力 大山山麓観光推進協議会
「講演会」実施、香港インバウンドセミナー	・講師 近兼 敏（滋賀大学特任教授） ・演題「大山パワーブランド～FAN AT DAISEN SUKI SUKI DAISEN」
インバウンド推進事業	・台湾テレビ ・韓国 月刊誌
「大山ブランド会」タイアップ	・ふるさと納税お礼品ガイド ・大山ブランドパンフレット

(イ) 広域観光連携体制整備事業

負担金として、下表のとおり支出している。

事業者名	事業名	負担金額
組合F	大山山麓・日野川流域つながる マルシェ in エルモール事業	2,620,000 円
組合G	皆生温泉地域スポーツ・エコツアーリズムコーディネート事業	965,568 円
協会H	Uバウンド事業負担金	3,000,000 円
めざましライブ～日本お元気 キャラバン in 米子実行委員会	めざましライブ～日本お元気 キャラバン in 米子 負担金	477,062 円

(ウ) 大山エコトラックシステム構築事業

a 大山エコトラックアプリ運用管理業務

平成29年度に(株)Iに委託して開発したスマートホン向けアプリ「DAISEN NAVI」の保守委託契約である。

委託料は4,276,800円（うち税等316,800円）で、月々330,000円（税抜き）の契約となっている。

開発者が(株)Iであるため、随意契約としての理由も納得できる。

b 大山エコトラックシステム構築事業

大山エコトラックシステム（プロモーション）構築事業委託業務として、団体Jと業務委託契約を締結している。

委託料は7,805,160円（うち消費税等578,160円）である。

業務内容は、「鳥取大山の冬に特化したプロモーション映像の作成及び情報発信」、「鳥取大山の冬に特化したスノーツアー商品の造成、モニターツアーの実施」、「インバウンドを意識した次年度以降につながる企画の提案」、「実施スケジュール及び実施フロー」である。

(エ) 周遊バスと情報提供アプリによる周遊促進事業

二次交通バスの周遊運行実験及び定額タクシーの運行実験を行うため、運行事業者に対して補助金を交付している。

バスは「だいせんミニループバス」として(株)Kが運行しており、定額タクシーは協会Lが行っている。

また、スマホ及びタブレットPCに対応した情報提供アプリの運用を(有)Mに委託している。

予算額は下表のとおりである。

項目	予算額
大山山麓圏域周遊バス運行促進事業委託料	9,720 千円
大山山麓圏域観光情報発信業務委託料	2,973 千円
大山山麓二次交通運行支援補助金	1,974 千円

イ 決算額

決算額 総事業費 46,503 千円 県負担額 23,252 千円(1/2)

ウ 監査の結果

(ア) 負担金の支払いについて【協議会への意見】

広域観光連携体制整備事業の負担金は、組合F等から事業負担金として請求があり、その請求書に基づいて支払われている。

地方財務実務提要における負担金の概説を参考にすると、「任意に各種団体を地方公共団体が構成しているとき、その団体の必要経費に充てるため構成各団体が取り決められていた費用を支出する場合」となっている。

めざましライブ～日本お元気キャラバン in 米子実行委員会のように構成員になっているものもあるが、組合Fのように、大山山麓観光推進協議会が構成員ではないものについても負担金として支払っている。

負担金ではなく経費の助成金等として支払うべきだと考える。

(イ) 大山山麓観光二次交通運行支援補助金について【協議会への意見】

協会Lが自己財源が乏しいことを理由に平成30年5月に1,000,000円及び

平成 30 年 10 月に 974,000 円を支払い、平成 31 年 3 月に 421,100 円の返戻を受けている。

自己財源が乏しいという理由で概算払をするのであれば、資金流用を防ぐためにも実績を超えないように支払うべきだと考える。

第2 生活環境部

1 第3回「山の日」記念全国大会運営事業

『第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取』の開催に合わせて国内外から多数の来場者が見込まれることから、記念式典・シンポジウムを通じて国民の祝日「山の日」の制定趣旨の周知を図るとともに、大山に代表される本県全域の自然の素晴らしさやその恵みについて来場者にPRすることにより、大会及び伯耆国「大山開山 1300 年祭」の盛り上げを図り、本県へのリピーター確保を目的としている。

[大会理念]

鳥取県・大山は、古来より「神在（い）ます山」と称され、日本遺産にも認定された地蔵信仰などにより大切に守られてきており、地元関係者と登山者とが一体となって、山頂の植生回復に向けた「一木一石運動」に取り組み、自然保護の全国的な憲章である「自然保護憲章発祥の地」としても広く知られるなど「山を守る聖地」であります。

また、「山の日」の制定に合わせて、山岳関係者や国、県、市町村等が連携して、「山の日」を語る集会や登山者向けマナーアップキャンペーン等を展開し、地域の山々を舞台に山に親しむ機会の創出を鳥取県一丸となって進めてきました。

第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取では、こうした山を愛する人たちによって紡がれてきた思いを次の世代に引き継いでいくとともに、大山を舞台に、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことに対する国民全体の理解を深め、障がい者、外国人、高齢者などを含むすべての方々が我が国の貴重な財産である山の素晴らしさを満喫し、「山」が有する豊かな魅力が国内外にアピールされる大会です。

[日程]

	日時	行事概要	場所	参加者数
8月10日(金)	5:30~15:00	「山の日」記念大山登山	大山	75名
	18:30~19:40	レセプション	ANAクラウンプラザホテル米子	約300名
	20:00~21:00	城山ミニ登山 その1	米子城跡	約80名
	20:00~22:00	お盆の大献灯ナイトツアー	大山博労座	約20名
8月11日(土・祝)	9:15~11:00	記念式典	大山総合体育館	約700名
	14:00~15:00	トークセッション	米子市公会堂	約700名
	15:30~17:00	ステージイベント	米子市公会堂	約300名
	9:00~15:00	歓迎フェスティバル(森の恵み感謝祭)	大山国体広場	約2500名
	11:00~17:00	歓迎フェスティバル(里の恵み感謝祭)	米子市公会堂～える・もーる1番街	約2000名
	15:15~16:30	米子城下町観光	米子市街地	約90名
17:00~18:00	城山ミニ登山 その2	米子城跡	約50名	

[大会PRポスター（開催決定）]

伯耆国「大山開山」100年祭

DAISEN

平成30年 | 第3回 「山の日」 記念全国大会

特別な年の、
特別な山の日。

8/10金・11祝
開催決定

鳥取県 大山



会場 | 鳥取県 大山

平成29年8月に第3回「山の日」記念全国大会実行委員会及び運営委員会を組織し、事業会計の策定及び大会広報を行っている。

実行委員会規約により事務局は鳥取県生活環境部「山の日」大会推進課に設置している。会長は鳥取県知事となっており、副会長が（一財）全国山の日協議会副会長、米子市長及

び大山町長と規定されている。

○主催者 第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実行委員会 (平成29年8月29日設立)

○特別職	名誉顧問	谷垣 禎一	((一財) 全国山の日協議会会長)
	顧問	安藤 宏基	((一財) 全国山の日協議会副会長)
		衛藤 征士郎	(超党派「山の日」議員連盟会長)
○構成員	会長	平井 伸治	(鳥取県知事)
	副会長	伊木 隆司	(米子市長)
		竹口 大紀	(大山町長)
		松沢 哲郎	((一財) 全国山の日協議会副会長)
	委員	警察庁、消防庁、文部科学省、スポーツ庁、林野庁、国土交通省、観光庁、環境省、(一財) 全国山の日協議会、琴浦町、伯耆町、江府町、伯耆国「大山開山1300年祭」実行委員会	
監事	鳥取県会計管理者、米子市会計管理者		

鳥取県は実行委員会への負担金として41,000千円を交付しており、実行委員会事業と県事業は下表のとおりである。(実行委員会の会計年度は規約により、平成29年8月29日～平成30年12月31日)

[第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取開催に係る実行委員会事業と県事業の状況]

区分	催事名	実施主体及び会計年度	委託契約の概要
「山の日」記念全国大会 in 鳥取	レセプション(前日)	実行委員会	実施計画策定業務 契約方法：プロポーザル方式(4グループが参加し、(株)Aを代表者とするグループ(構成員3者)を選定) 契約金額：1,499千円
	記念式典	H29.8.29～ H30.12.31	業務内容：実施計画(式典行事、宿泊・輸送計画、広報計画等)策定業務 記念式典実施運営業務 契約方法：(株)Aを代表者とするグループ(構成員5者)との1者随意契約 契約金額：50,760千円 業務内容：記念式典、シンポジウム、エクスカージョンの実施(主会場：大山総合体育館)

安全対策費	空調設備費 (注：記念式典の暑さ対策)	県 H30年度	記念式典会場への空調設備設置業務 契約方法：(株) Aを代表者とするグループ（構成員5者）との1者随意契約 契約金額：8,260千円 業務内容：実行委員会が行う記念式典の会場への空調設備設置（設置場所：大山総合体育館）
歓迎フェスティバル	森の恵み感謝祭 里の恵み感謝祭	県 H30年度	歓迎フェスティバル実施計画作成及び運営業務 契約方法：(株) Aを代表者とするグループ（構成員2者）との1者随意契約 契約金額：14,999千円 業務内容：森の恵み感謝祭（大山国体広場）、里の恵み感謝祭（米子市公会堂前広場～える・もー）の開催

第3回「山の日」記念全国大会に向けて全県での機運醸成及び盛り上げを図る平成30年度事業

【県実施事業】

事業名	内容
国立公園満喫プロジェクト等推進事業	<p>国の「国立公園満喫プロジェクト」のモデル地域に選定された大山隠岐国立公園において、外国人観光客や交流人口の増加に繋げて行くため、ステップアッププログラム2020に基づき、重点取組地区の施設改修等、外国人観光客等の受入環境の充実を図る。</p> <p>第3回「山の日」記念全国大会の開催により、県内外から多数の観光客が訪れるため、それら観光客をリピーターとして取り込み、今後の誘客につなげるため、ソフト及びハード両面の整備を行う。</p>
「とっとりの山」魅力発信事業	
(1) 第3回山ガールサミット in 鳥取大山の開催	女性を対象とした山歩きや、ファッションショー等のイベント開催により、全国に向けて新たなトレンドを発信する。
(2) 第3回わかさ「氷ノ山」山フェスの開催	地元市町村、兵庫県と連携して「山の日」の意義や氷ノ山の自然の魅力を情報発信、体験するイベントを開催する。
(3) 「とっとりひと筆書きトレイルルートマップ」の	近年盛り上がりを見せている「ロングトレイル」のルートとして、県内最長の323.8kmに及ぶ中国自然歩道等をP

作成	Rする。
(4) 自然体験活動・自然保護普及啓発	氷ノ山キャリーアップボランティア、三徳山ふれあい自然体験教室、大山キャリーダウンボランティアを開催する。
(5) とつとりの自然の豊かさと山の魅力発信事業補助金	「山の日」記念全国大会を契機として、県内全域における山の魅力発信と大会の機運醸成を図るため、山の魅力を発信する既存のイベント（記念大会として拡充部分）に対して支援する。 補助率：＜民間団体＞10/10（上限 200 千円/件） ＜市町村＞ 1/2（上限 100 千円/件）

(1) 第3回「山の日」記念事業 実行委員会負担金（県実施事業）

ア 事業の概要

第3回「山の日」記念全国大会を本県に招致し、大山開山 1300 年祭の核として位置づけることで、自然保護意識の更なるかん養につなげるとともに、大山の自然・歴史・文化を広く内外に発信することにより、全国からの誘客促進を図る。

イ 決算額

決算額 総事業費 64,000 千円 県負担 41,000 千円

ウ 監査の結果

(ア) 県負担金の早期支出【県に対する意見】

平成 29 年 9 月 20 日に負担金 41,000 千円全額を実行委員会に支払っているが、その内訳は、平成 30 年 8 月開催の記念事業の開催経費となっている。

実行委員会事務局職員は県職員が兼務しており、支払時期についても、あらかじめ配慮することができる立場にあると思われ、平成 29 年度、平成 30 年度の事業として債務負担行為を設定しているのであれば、平成 29 年度、平成 30 年度それぞれの支出計画等に応じた額を支出するべきで、平成 29 年 9 月 20 日に全額支出する行為は時期が早すぎるのではないかと考える。

第3回「山の日」記念全国大会 実行委員会 収入・支出年月日

(平成29年9月から平成30年3月まで)

【主な収入】

(単位：千円)

収入	金額	収入年月日
県負担金	41,000	平成29年9月20日
協賛金	3,100	平成30年2月23日外
計	44,100	

【主な支出】

(単位：千円)

支出	金額	支出年月日
実行委員会経費等	1,717	平成29年9月20日～
山の日記念大会PR用品、新聞広告料等	2,494	平成29年9月20日～
情報発信委託料	2,114	平成30年2月21日
計	6,325	(年度末残高：37,775)

(平成30年4月から平成30年12月まで)

【主な収支】

(単位：千円)

収入	金額	収入年月日
(前年度末残)	37,775	
米子市負担金	5,000	平成30年4月17日
大山町負担金	5,000	平成30年5月7日
協賛金	12,844	平成30年4月12日～
米子市広報費補助	150	平成30年8月21日
国土緑化機構助成金	200	平成30年10月25日
計	60,969	

【主な支出】

(単位：千円)

支出	金額	支出年月日
実行委員会経費等	2,253	平成30年4月2日～
山の日記念大会PR用品、新聞広告料等	5,155	平成30年4月2日～
実施計画策定業務委託料	1,499	平成30年4月17日
新聞広告料	2,160	平成30年9月10日
イベント委託料等	1,302	平成30年9月10日
業務運営委託料	50,760	平成30年10月30日
計	60,969	

※第3回「山の日」記念全国大会実行委員会の会計年度は、規約により、設立した日から平成30年12月31日までとされている。

平成29年度予算

6月補正予算 一般事業(公共事業以外) 一般事業調整 支出科目 款:衛生費 項:環境衛生費 目:環境保全費

事業名: [債務負担行為]第3回「山の日」記念全国大会運営事業

もどる

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)
 生活環境部「山の日」大会推進課 ー
 電話番号:0859-31-9381 E-mail:zaisei@pref.tottori.jp

事業費

債務負担行為要求額: 41,000千円

一般事業査定:計上

事業内容

1. 事業内容

平成30年8月10日、11日に大山を主会場として開催する第3回「山の日」記念全国大会(※)運営に係る事業費

※平成28年8月11日に初めての祝日を迎えた「山の日」の制定趣旨の周知と、山に親しむ機会を創出し、山の恩恵に感謝する機会とすることを目的とし毎年全国各地で開催している。

2. 債務負担行為とする理由

大会開催まで約1年と迫っている中、実施主体となる実行委員会へ負担金として一括で拠出することにより、速やかな執行が可能となるよう債務負担期間を設定するもの。

債務負担期間 平成30年(1ヶ年)

3. 対象経費

(1)実施主体

第3回「山の日」記念全国大会実行委員会
 <事務局> 鳥取県

(2)対象経費

実行委員会へ拠出する負担金

<負担金額> 41,000千円

債務負担行為要求書 (単位:千円)

事項	期間	区分	限度額	財源内訳				説明	
				国庫支出金	起債	分担金負担金	その他		一般財源
款:衛生費 項:環境衛生費 目:環境保全費	平成30年度から平成30年度まで	要求総額	41000	0	0	0	0	41000	
第3回「山の日」記念全国大会運営事業費負担金		平成30年度	負担金総額41,000千円を限度として、平成29年度に第3回「山の日」記念全国大会実行委員会が決定した鳥取県負担金の額から平成29年度に支出した額を差し引いた額	0	0	0	0		負担金総額41,000千円を限度として、平成29年度に第3回「山の日」記念全国大会実行委員会が決定した鳥取県負担金の額から平成29年度に支出した額を差し引いた額

(イ) 事業の実施主体について【**県に対する意見**】

記念式典会場への空調設備設置業務について、実行委員会が実施する式典運営業務にもかかわらず、県が空調設備を設置している。

実行委員会事業の運営に関わるものであれば、実行委員会が行うべきものであり、同時期に開催されている伯耆の国「大山開山1300年祭」推進事業では、記念式典事業を県実施事業としてではなく、県が全額(10/10)を実行委員会に支出し、実行委員会事業として実施しているように、同一の者が実施すべきと考える。

(ウ) 公募型プロポーザルの公募内容について【**実行委員会に対する意見**】

実行委員会の公募型プロポーザルにおいて、「歓迎フェスティバル」及び「記念式典会場となる大山総合体育館への空調設備の設置」については、県事業であるにもかかわらず、実行委員会が発注するかのよう記載されており、実態と異なっている。

また、県事業である歓迎フェスティバルについて、大会の運営・実施について受注する者との随意契約を想定しているとの記述もあり、県と実行委員会の役割分担が混同されている。

公募に当たっては、事業内容を精査し、正しい内容で行うべきと考える。

〔第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実施計画策定業務に係る公募型プロポーザル実施要領(抜粋)〕

第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実施計画策定業務に係る公募型プロポーザル実施要領

1 目的

この要領は、第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実施計画策定業務(以下「委託業務」という。)において、企画提案書等と比較検討し、業務の委託先を決定するために行う公募型プロポーザル(以下「プロポーザル」という。)の実施に際して必要な事項を定める。

2 委託業務の概要

(1) 業務名

第3回「山の日」記念全国大会 in 鳥取実施計画策定業務

(2) 業務内容

別添仕様書のとおり

(3) 契約期間

契約締結日から平成30年3月23日(金)まで

(4) 契約上限額

金1,500千円(消費税及び地方消費税の額を含む。)

3 プロポーザルに参加する者に必要な資格

※ 上記業務の実施・運営に係る経費として、60,000千円以内(消費税及び地方消費税を含む)として提案すること。ただし、記念式典会場となる大山総合体育館への空調設備の設置及び豪円山国体広場へのパブリックビューイング用屋外モニターの設置を行うものとし、当該設置経費はこの中に含めるものとする。

〔業務委託仕様書〕

5 委託業務の内容

実施計画（骨子）に基づき、以下の実施計画（案）を策定すること。

(1) 記念式典等行事（レセプション・記念式典・シンポジウム）計画

- ・コンセプト、プログラム、演出計画の作成
- ・シンポジウムパネリスト候補者提案、出演事前交渉・調整
- ・会場計画（招待者、一般参加者、出演者等の動線計画、装飾、図面等）

(2) 歓迎フェスティバル計画

- ・実施内容は実行委員会で検討中のため、計画策定不要とする。

ただし、実施計画（骨子）に記載の内容を実施するものとし、輸送計画等に反映させること。

(3) 宿泊・輸送・駐車場計画

- ・記念式典等行事及び歓迎フェスティバル参加、来場者の宿泊・輸送・駐車場計画の作成

(4) 運営計画

- ・医療・衛生計画
- ・消防・防災計画
- ・警備計画
- ・研修・リハーサル計画

(5) 広報

- ・実施方針
- ・広報計画

(6) (1) 及び (3) から (5) に係る経費積算（2回）

【留意事項】

- ・実施計画（案）は、実行委員会設立趣意書の内容、実施計画（骨子）等に基づき策定するものとする。ただし、歓迎フェスティバルについては、別途計画を策定し、大会の運営・実施について受託する者との随意契約による実施を想定している。

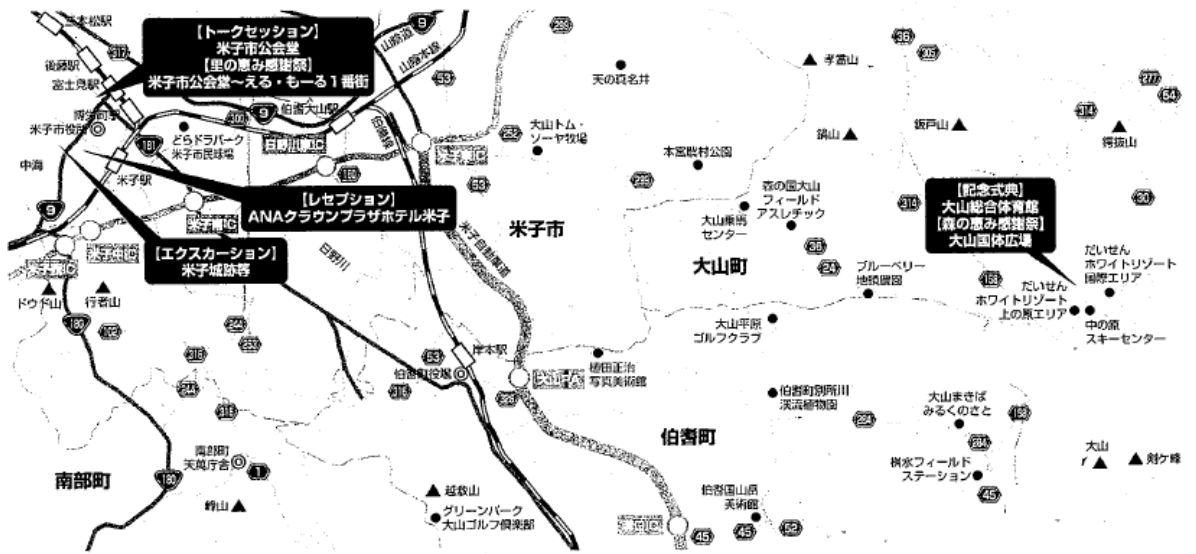
2 森・里の恵み感謝祭 a t 第3回「山の日」記念全国大会

(1) 歓迎フェスティバル

ア 事業の概要

全国大会の参加者や県内外のアウトドア愛好家、地元で山や自然に触れる機会が少ない方などに、本県の山を含む自然の魅力や素晴らしさと恵みを感じてもらうため、3会場で歓迎フェスティバルを開催する。

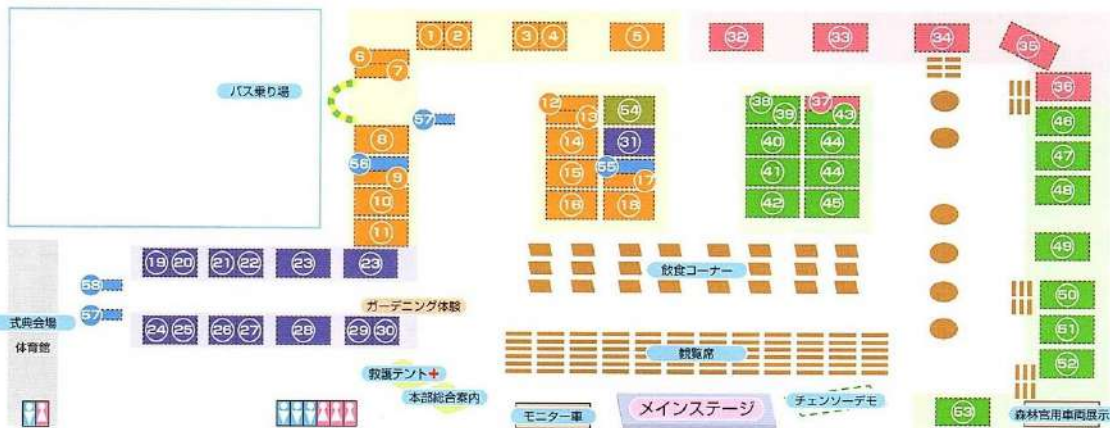
開催場所



(ア) 森の恵み感謝祭 (大山国体広場)

大会式典に併せて、本県の山の恵みを体感してもらうため、県内各地の木工製品等を紹介するイベントや森が育んだ「うまいもの市」などを開催した。

森の恵み感謝祭会場図



会場配置図



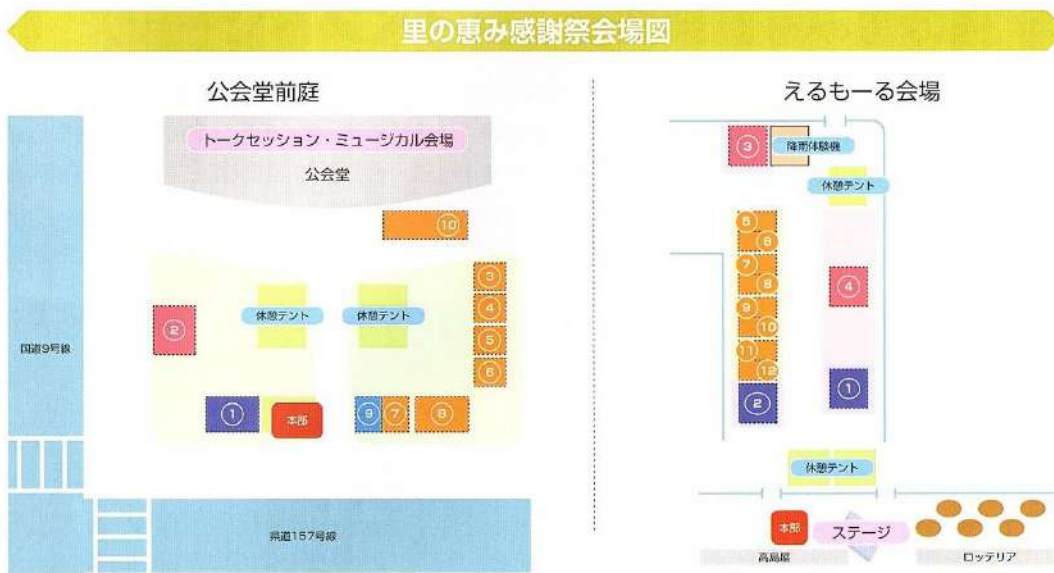
歓迎ゲート



グルメブース

(イ) 里の恵み感謝祭（米子市公会堂周辺）

大会シンポジウム会場周辺において、大山を中心とする山から里にかけての産品や文化芸能に親しむイベント等を開催するほか、大山の地蔵信仰によって育まれた歴史的景観を活かす催事を展開した。



会場配置図



ひまわり駐車場



よなご・マルシェ

(ウ) ステージイベント（米子市公会堂）

誰もが楽しむことができる本県の山の魅力を発信するため、本県の山を代表とする自然をテーマとした演劇などのステージイベントを地元文化団体と連携して開催した。



鳥取県警察音楽隊の演奏と名和小学校児童による合唱

イ 決算額

決算額 14,999 千円

ウ 監査の結果

(ア) 歓迎フェスティバルの業務委託契約について【県に対する指摘事項】

「実施計画策定及び運營業務」の委託契約をプロポーザル受注業者（株）Aを代表者とするグループが1者随意契約で受注しているのは、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に定める随意契約理由（契約でその性質又は目的が競争入札に適しない場合）に該当（担当課の説明として「山の日」記念式典を実施運営する業者に任せることで、会場運営から当日の催事の運営が円滑に行える）と説明を受けたが、記念式典と歓迎フェスティバルの会場は、大山国体広場及び米子市公会堂周辺であり、（株）Aを代表者とするグループでしか実施する事が出来ないという理由にはならない。

実行委員会が実施する事業であれば既発注の追加として1者と随意契約することも理解できるが、歓迎フェスティバルは県の事業として実施しているので、自ら歓迎フェスティバルが実施可能な者と入札により契約すべきだと考える。

(イ) 契約額について【県に対する指摘事項】

予定価格の15,000千円を見積依頼の仕様書に提示して、14,999,966円の見積書を徴して契約しているが、鳥取県会計規則で「予定価格を記載した書面を封書にし、見積書と比較する際これを同じ場所に置かなければならない。」とあり、当該随意契約においては予定価格を提示すべきではなく、適正に執行していただきたい。

(2) 式典会場における安全対策費

ア 事業の概要

記念式典の会場には空調設備がないことから、熱中症対策等来場者の安全確保のため、式典会場の大山総合体育館に空調等を設置する。

イ 決算額

決算額 8,260 千円

ウ 監査の結果

(ア) 契約について【県に対する指摘事項】

(株) Aを代表者とするグループのみから見積書を徴取し、1者随意契約されている。

(株) Aを代表者とするグループ特定企業体の代表者を(株) Aをとし、構成員を(株) N、(株) P、(株) Q及び(株) Rと契約しているが、契約者の中に空調機器メーカー関係者もリース会社もない。

随意契約の理由として、地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に定める随意契約理由(契約でその性質又は目的が競争入札に適しない場合)に該当(「山の日」の実施運営をする業者以外だと、電源の確保をはじめ、会場設営の搬入ルートが狭いなど、当日の会場設営や運営に混乱が生じる)との説明を受けたが、その業者でなければ電源を確保できない状況ではないにもかかわらず、電源確保も含めて空調機器メーカー等から見積りを取っていない。

実行委員会が実施する事業であれば、既発注の追加として1者と随意契約することも理解できるが、県の事業として実施するのであれば、自ら空調機器の設置が可能な者を入札により契約すべきだと考える。

(イ) 契約額について【県に対する指摘事項】

予定価格の8,260千円を見積依頼の仕様書に提示して、8,260千円の見積書を徴して契約しているが、鳥取県会計規則で「予定価格を記載した書面を封書にし、見積書と比較する際これを同じ場所に置かなければならない。」とあり、当該随意契約においては予定価格を提示すべきではなく、適正に執行していただきたい。

(ウ) 契約の履行について【県に対する指摘事項】

鳥取県会計規則第114条において、「契約の相手方は、契約権者の承認を受けなければ契約の履行を第三者に委託してはならない。」と規定されており、運用方針として「契約金額等の50パーセントを超える委託又は業務の中核となる部分の委託は、特段の理由がある場合を除き、認めることができない。」とある。

1 者随意契約を行った(株) Aを代表者とするグループや関連グループには空調機器メーカーもリース会社もなく、パッケージエアコンや発電機も他の業者からの賃貸等により行われることは予め容易に想像できることである。

見積依頼、契約の段階で十分なチェックを行う必要があると考える。

(エ) 実行委員会と県との関係性について【県に対する意見】

実行委員会が契約した実施計画策定業務(1,499千円)を根拠に、実行委員会実施事業(50,760千円)に加えて県実施事業(歓迎フェスティバル14,999千円、空調設備設置8,260千円)も1者による随意契約を行っている。県と実行委員会は別団体であることを十分認識した上で、適正に執行していただきたい。

3 国立公園満喫プロジェクト等推進事業

(1) 事業の概要

大山隠岐国立公園が、日本の国立公園を世界水準の「ナショナルパーク」としてブランド化を図る「国立公園満喫プロジェクト」のモデル地区として選定された。

今後、増加が見込まれるインバウンドを取り込む為、ナショナルパークに相応しいビューポイント(登山道、山頂、博物展示施設、展望・休憩所等)の改修等を行い、外国人観光客に対し魅力ある施設となるよう整備を行う。

ア 自然公園施設等整備事業

下山野営場の解体工事と槇原駐車場倉庫改修工事。

イ 大山自然歴史館リニューアルオープン記念式典経費

平成30年夏にリニューアルオープンの大山自然歴史館について、そのオープニング式典行事に係る経費等。

ウ 全県トレイルPRイベント経費

国立公園満喫プロジェクトにおいて、国立公園と周辺地域との連携した取組を促進することへの提案を受け、全県トレイルを活用し、県内、延いては隣県の観光地等への誘客を促進することについて、ステップアッププログラムへ追加記載された。

「山の日」記念全国大会及び大山開山1300年祭に合わせ、ガイドマップの配布・イベントの実施を行うことで、本県の有する自然歩道の魅力をPRし、利用促進を図ると共に、周辺地域への誘客促進を図る。



エ 大山公認ガイド育成支援事業費

国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラムにおいて、ガイド育成の取組についても記載されている。

安心・安全な登山利用を図ることを目的に、公認資格を保有するガイドの育成を進める。

平成30年度は関係者との調整のみで、執行額は0円となっている。

オ 1300年祭に向けた当面のトイレの対応

平成30年度早期に6合目及び山頂に仮設携帯トイレブースを設置し、携帯トイレの周知を図る。

(2) 決算額

決算額 29,642千円

(3) 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。

4 「とっとりの山」魅力発信事業

(1) 第3回山ガールサミット in 鳥取大山の開催

ア 事業の概要

平成28年から8月11日が祝日「山の日」となったことを受け、登山、アウトドア等に対する関心が高まる中、愛好者はもとより、その潜在層（女性、学生等）に対して、情報発信する取組として平成28年度に第1回山ガールサミット in 鳥取大山を開催した。平成30年度は「山の日」記念全国大会を記念した特別回として開催し、全国に向けて新たなトレンドを発信する。

[事業内容]

- ・登山・アウトドアに関する著名人を招聘し、山歩き、多角的な自然体験のスタイル等を提案するアクティビティ、トークセッションの開催
- ・山ガールファッションショー
- ・山クッキングコンテスト等のイベント開催



YAMA GIRL SUMMIT

in Mt.Daisen

山ガール・サミット in 鳥取大山

第3回

山ガール・サミットとは？
「全国の山ガールの皆さんが集まり、交流し合えるイベントを行おう！」との事で発足した企画。その名も「山ガール・サミット」。山を愛し、自然を愛する皆さんと楽しみながら、登山を愛した地域交流により「人(参加者)」と「地元の人」が深く結びあうイベントです。



2018. 9/16 (日)・17 (月・祝)

会場 大山 博労座 第4駐車場 特設ステージ



MC & お笑いライブ
お笑いライブ
16日/13:00~、18:45~
17日/12:00~



料理評論家
道乃
鳥取県ご当地
クッキング教室
16日/14:45~
17日/13:15~



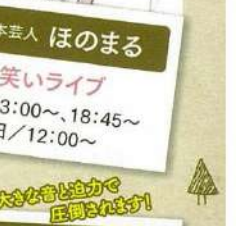
シンガーソングライター
加賀谷 はつみ
青空ライブ
16日/15:45~、19:30~
17日/16:30~



アウトドアライター
松元 麻希
大山開山1300年
歴史紙芝居
16日/13:30~、17:15~
17日/14:00~



写真講師
廣田 勇介
山岳ガイドによる
山の写真教室
17日/9:40~
※有料アクティビティ要予約



チェンソーアーティスト
齋藤 和紀
チェーンソー
パフォーマンス
16日/14:00~、18:00~
17日/12:30~、14:30~

握手会
撮影会
人気キャラクターイベントショー
握手会の後には、写真撮影もあるよ！

16日 ジパニヤン・バラエティーショー
12:15~、16:30~

17日 クレヨンしんちゃんと遊ぼう！
11:15~、15:15~

イ 決算額

決算額 5,000 千円

ウ 監査の結果

契約額について【県に対する意見】

企画運営及び記事掲載業務を一者随意契約により、(株) S に委託している。

「山ガールサミット」の商標を(株) S が持っているため、随意契約となることは理解できるが、事業実施の参考とするために依頼した見積書の見積額は7,404,500円であったものが、契約時には見積額が5,000,000円となり、予定価格も5,000,000円で同額の業務委託契約書が作成されている。

7,404,500円の見積書には明細書が添付されているが、5,000,000円の見積書は一行だけで全く明細が添付されていない。

見積書は明細まで記載されたものを添付して検討するようにしていただきたい。

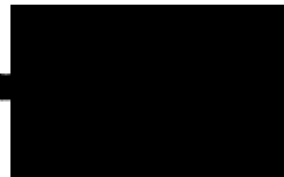


御見積書

No. T-3

日付: 2018年 5月 7日

鳥取県知事 平井 伸治 御中



ご請求金額合計 ¥5,000,000

内容	数量	単位	単価	金額	備考
9月16日・17日第3回山ガールサミットin鳥取大山 イベント運営管理費等一式	1		4,629,630	4,629,630	
計					
消費税(8%)				370,370	
合計				5,000,000	

(2) 第3回わかさ「氷ノ山」山フェスの開催

ア 事業概要

団体Tと業務委託契約を締結し、地元市町村、兵庫県と連携し、氷ノ山自然ふれあい館「響の森」を拠点として「山の日」の意義や氷ノ山の自然の魅力を情報発信、体験するイベントを開催する。

また、国道482号線の全線開通により、兵庫県との連携が促進されることが予想されるため、本イベントも開通に向けての気運醸成を図るとともに、次年度以降の交流イベントとして位置づける。

[事業予定内容]

- ①地元音楽愛好家による子供向けコンサートやトワイライトコンサートなど
- ②月や星の観察
- ③アウトドア関連の衣料や地元飲食店等による飲食物の販売ブース出展

イ 決算額

決算額 571 千円

ウ 監査の結果

変更契約について【県に対する意見】

平成30年10月6日に氷ノ山自然ふれあい館「響の森」周辺において、コンサート、月や星の観察、飲食ブースの出展によるイベントを開催予定であったが、台風25号の接近を受けて契約書第14条に基づき、協議を行い、中止を決定した。イベントの実施経費については、既に実施済みの広告宣伝費及び中止により支払う必要のあるキャンセル料についてのみ支払うこととされたが、同契約第14条に定める委託料限度額の変更契約が締結されず、精算で減額されている。

同契約第14条に基づき、変更契約をすべきだったと思われる。

第3回わかさ「氷ノ山」山フェス・イベント（仮称）企画運営業務委託契約書 ～抜粋～

(契約の変更)

第14条 天災、荒天その他やむを得ない理由により、業務の全部又は一部を実施することができないと甲が認めるときは、甲は乙と協議し、委託業務の内容を変更することができる。この場合において、委託料限度額を変更する必要があるときは、甲乙協議して変更契約によりこれを定める。

(3) 「とっとりひと筆書きトレイルルートマップ」の作成

ア 事業の概要

県内の主要トレイルルートをつなぎ、景勝地や名所を結ぶロングトレイルルート「とっとり横断ロングトレイル」を策定。平成 29 年度予算でガイドマップ制作、平成 30 年度予算で印刷の予定だったが、平成 29 年度予算を繰越して制作と印刷をまとめて行った。(平成 30 年度予算は執行せず。)

イ 決算額

決算額 2,073 千円

ウ 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。

(4) 自然体験活動・自然保護普及啓発

ア 事業の概要

(ア) 氷ノ山キャリーアップボランティア

氷ノ山登山道の維持管理に必要な資材をボランティアにより荷上げを行う。

(イ) 三徳山ふれあい自然体験教室

三徳山、小鹿溪の自然観察会を環境省レンジャー等と連携して実施。

(ウ) 大山キャリーダウンボランティア

大山頂上避難小屋のトイレ浄化槽に溜まった汚泥をボランティアで麓まで下ろし回収する。

イ 決算額

決算額 2,147 千円

ウ 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。

(5) とっとりの自然の豊かさと山の魅力発信事業補助金

ア 事業の概要

第 3 回「山の日」記念全国大会の開催を機に、県の豊かな自然や山の魅力を活かしたこれまでの活動を拡充し、大会への機運醸成や将来にわたり県の豊かな自然や山の魅力の普及啓発に繋がる取組を実施する団体を支援することを目的に、『第 3 回「山の日」記念全国大会』機運醸成支援事業補助金交付要綱(記念大会の拡充部分を対象とする別要綱)を制定し、市町村 10 万

円、その他団体 20 万円を上限として補助金を交付している。

イ 決算額

決算額 1,000 千円

ウ 監査の結果

特に意見・指摘事項はない。

第3 指摘及び意見の件数

1 西部総合事務所地域振興局

項目名等	指摘	意見
伯耆国「大山開山 1300 年祭」実行委員会主催事業	—	—
市町村協働・連携事業	—	2
大山圏域魅力向上に向けた民間団体等の取組支援	—	3
1300 年祭及び大山圏域の魅力の広報 P R	—	—
伯耆国「大山開山 1300 年祭」記念式典等関係事業	—	1
大山山麓観光推進協議会 DMO 推進調査部会（特別会計）事業	—	2
計	—	8

2 生活環境部

項目名等	指摘	意見
第3回「山の日」記念事業 実行委員会負担金	—	3
歓迎フェスティバル	2	—
式典会場における安全対策費	3	1
国立公園満喫プロジェクト等推進事業	—	—
第3回山ガールサミット i n 鳥取大山開催	—	1
第3回わかさ「氷ノ山」山フェスの開催	—	1
「とっとりひと筆書きトレイルルートマップ」の作成	—	—
自然体験活動・自然保護普及啓発	—	—
とっとりの自然の豊かさと山の魅力発信事業補助金	—	—
計	5	6

合計	5	14
----	---	----